

條約改訂(其三)

ス能はずして、電視影響時代を つた、それで一擧に其成功を見 つた、それで一擧に其成功を見

荻川 放談 。 本で、軍閥でさへ、 生成で、軍閥でさへ、 な成立のは國民企識 能むる器で、日支條数の

國民政府との提携を欲せば、相助の態度にある東四省官憲は斯即の態度にある東四省官憲は斯即の態度にある東四省官憲は斯の態度にある東四省官憲は斯の態度にある東四省官憲は斯の態度にある。

四省官族の狭心が要する、云は、地に立つて、未然の國民政府の意志を監に立つて、未然の國民政府の意志を監

が、全職や単な水 ・ はい、 ・ は、 ・

関民政府に反抗するの種別に終意

ところぢやあるまい、其處に東の反抗に包まれては、統需問題の反抗に包まれては、統需問題の反抗にして國内の反抗に包まれては、統需問題の反抗に包まれては、統需問題の反抗に包まれては、統領の政策を持ち、対し、

戦し責任を負む、電気の

で、 、 は、 は、 は、 は、 は、 のりでは、 のりでである、 のののでである。 のののである。 ののである。 のので。 此腹を定むることが先に立つで潜でも響いが、何んとあつても

獄力これに営

東四省官総を指いて、他に求め 東四省官総を指いて、他に求め 東四省官総を指いて、他に求め で、最も好く日本を理解するは で、最も好く日本を理解するは で、最も好く日本を理解するは 比鍵を握り得る可能性あるにあ で、當今支那中獨り東四省のみ の爲め其處に立脚し、極東の平の 東四省官競が其勢威を保つて、

補充馬受取

美味~て

和光堂

咳止のお薬

第十六師整備充馬受取の為整澤 で内地に向つたが顕數は約九十頭 で内地に向つたが顕數は約九十頭 が開業は約九十頭 東歐連信局管内の判代官以上を認信協會の記念帳

中國人教育打合會

能はざればなり。

十六日午前九時より金州公野党南皇校長及び公野党長の打合會を開催の筈

朝報神州支社長に新任し十五日各男が北新聞社長今周而氏は今回萬朝報支社開設・満州 を歴訪挨拶する處があった 茶普折 本通機 专型型 事務用に 一装用に 二十五国 / 特级符三十二





# 十六日午前八時半

# マック首相(上)と松平駐英大使の腕比

### 英國首相 日本を利用し 割主張に に對する 一國を抑へる 石二鳥の策 運意

『ハルピン特電十五日数』最近國 竣において支那軍隊を敬認した司 はなり

た観覚に居るH本人を もよい \*\*

**勞農に味方してゐるから** 

支那軍司令官の暴令

人を惨殺せよ

に使へられてゐる。

へは露國に味方してゐるか

總ての露支交渉を東北四省に任 は行かないでせう、南方の職 には行かないでせう、南方の職 には行かないでせう、南方の職 には行かないでせう、南方の職 には行いないでせるが、そんな譯 地の窮民に分配したので支那人 地の窮民に分配したので支那人

**|上海十五日發電||國民政府は孫** 

國民政府發表

佐分利公使ける

張學良氏と會見

北陵別邸に招待さ

n

朝すると

港外着の豫定 はるびん丸・

**寢返說** 

採良誠氏

鹵獲した食糧を

窮民に

變つた勞農軍の遣

十一隻廿一萬噸を保有する時は他人时一萬噸巡洋艦において米が二 ラク首相が英、米内交渉の結果と 日本の七手交した戯意は去る九月十五日マ なるも米 といふ事實よりして英國の主張を

シア側も挑戦しないと思ひます が関から積極的に出ない限りロ が で は して のますだが 恐らく 支 を 臓はして のますだが 恐らく 支 を しょう で は しょう に ひょう に しょう に に しょう に しょう に しょう に しょう に しょう に しょう に に しょう に しょう に しょう に しょう に に しょう に に しょう に しょう に しょう に に しょう に しょう に しょう に しょう に しょう に しょう に

ある

『ハルビン特電十四日登』 W本語の一番に、氏の節代散は否定されて を定で、氏の節代取りた時局問題 を定で、氏の節代散は否定されて を定で、氏の節代数は否定されて

は十五日午前八時中麓列車で水率 し奉天神社忠監塔に参拝後午前十 一時張野良氏の揺実に臨み同午後 おける慰良氏の揺実に臨み同午後 おける慰良氏の揺実に臨み同午後

埠制通令奉天商埠地の

は定を通合した 規定を通合した 現実を通合した

▲津村雅量氏(本派本願寺支無開 ・ 本理村雅量氏(本派本願寺支無開 ・ 本理村雅量氏(本派本願寺支無開

氏(脳東藤単務官) 十米連遼東ホテル投宿 根察の貫め十四日午後

辭任說否定

呂東鐵督辦の・

舊條約無効な

を宣言

日支條約三月內

に完成せずば

氏は十六日午後安奉線30分にて ・ 大な晩餐館が開かれる窖雞佐分利。 ・ 大な晩餐館が開かれる窖雞佐分利。 ・ 大な晩餐館が開かれる窖雞佐分利。 ・ 大な晩餐館が開かれる窖雞佐分利。 ・ 大な晩餐館が開かれる窖雞佐分利。 ・ 大な晩餐館が開かれる窖雞佐分利。 ・ 大な晩餐館が開かれる窖雞佐分利。

所埠地に建築せんとする者は中 外リ人を論ぜす一律に商租契約 ー年内に建築工事をなさざれば 一年内に建築工事をなさざれば

南京政治

一會議で決定

京交渉を進

特産出廻り激減

支那軍輸送のため

て斯くて英國は八吋一萬順巡洋艦 る冒を巧妙に暗示したものであつ る冒を巧妙に暗示したものであつ

來る廿三日有志大會 無効を宣記すると共に臨時輸送の本機をせき立てんとする 無効を宣記すると共に臨時輸送の あ得ぬ有線に在るので飽 後三月内に完成せざれば鶴條約の あ得ぬ有線に在るので飽 がでしますると共に臨時輸送の 本機をせき立てんとする

| 「有量低下を米に迫り其」以下、大竹貫一、本多能太郎氏等 に続ける國民的後援會設置につっ合ひに出して八吋一萬 【東京十五日愛曹】晦山満、内田 の主唱にかえる海軍へ縮層議会 ちる官の管言決議をなし影響き之の管言決議をなし影響されている。

主力艦の縮小討議

曾議の劈頭に提唱せん

解散囘避に利用 は、伊四國は繁二次回答に於て過 安心じて託する能は認りである、英、米 大数か月間の事實より見るも未だ 大数か月間の事實より見るも未だ 大数か月間の事實より見るも未だ 大数を指摘 では、近、大型を指摘 では、一次ので此上支那政府があつ 【北平十四日發電】治外洗濯旅廠 に関し支那政府が第三大照會を發 したとの説は誤りである、英、米 大

西北軍前進し

しとは信じられず、外交側を示けれてある、只真一支と云はれてある、只真一支を云はれてある、只真一支をことあらば列眼は呼呼をることあらば列眼は呼呼をあるととに完全なる一番。 致っとを覚那であらって 担関 の う

國民義勇軍組織

吉林省政府の訓令

下身體健全、未だ法律の制裁を 受けたることなき者、且つ家長 感長の證明及相當の保證ある者 に限る

市會に提議

委員會で協議

以内に演奏家主連は反省する事だ 手揚る、除り増が猛威を選しらせ 手揚る、除り増が猛威を選しらせ

製鋼所問題

**製陽に迫る** 中央軍の唐軍戦意を失ひ を以て管内一陸に通警した其要版 電気器に終したので此程省政府脈が、 東京組織縣例」十九ケ線の施行方、 東京組織縣例」十九ケ線の施行方、 東京組織縣例」十九ケ線の施行方、 東京組織縣例。十九ケ線の施行方、

一、凡そ中華民國々民政は團體に して我國土を侵佔し我民族を監 追する强敵を護除する爲め頭の 爲めに犠牲となることを志願す る者は義勇軍と爲し本條例を適 用する

受け十八歳以上三十五歳以勇兵は須く中等以上學校教

四、其任務は駿壩部隊 参加し或 は宣傳工作に努めて民衆の覺醒 を促し軍隊の後援を爲するのと 陸東懲罰令及陸軍刑汪條例に依軍規約を遵守し犯罪行為あれば、義勇兵は服役期間内は須く陸

三、團體議勇軍は正式の學校或は 三十人以上二百人以下とし義勇 三十人以上二百人以下とし義勇 

つた折轄だけに聊か以て意を張うった折轄だけに聊か以て意を張う

干潮前三、二〇 後 天氣豫報

三〇四 本館 本館

というというとう 悪家がした 中のお手當が一番計画でどざいます

を無管支が来ました。となたもと を無管支が答見になり勝ちでお醒い を無管支が答見になり勝ちでお醒い を無管支が答見になり勝ちでお醒い

心に實効散

▲任望南氏(前直隷省長代理) 十

本松澤雄二氏(和兵大尉) 同上

本松澤雄二氏(和兵大尉) 同上 大觀 小 觀

効

ゼ

凍る朝 のゆうべ

軍縮後援會

持につき日本が英米何れ場等と稱する以上七割比場等と稱する以上七割比場等と稱する以上七割比

方的の宣言は 斷乎拒否す 列國の治廢問題方針

かましく年内撤殷の要求 

海、海吉、吉長の三線を經由し電。 ・ 満州里の耐國境警備のため率 ・ 満州里の耐國境警備のため率 ・ 満州里の耐國境警備のため率

関係による睾天臓の軍蹠輸送に累以上の繋だしい戦であつたが獣譚

3

中は本米反動の時化複線。 全機の乗將、碇も披かぬ内から、 全機の乗將、碇も披かぬ内から、

四國大會の中國

変那政府が内政関係から一方的 変那政府が内政関係から一方的 船頭さん塗の腕の見せどころの船頭さん塗の腕ので見せどころのが

おやないのかな。そんなに早手腕しに繁策を収極の中央政府

満の繁雄もヤアノへの掛路ばかり河南の繁雄に負けぬつもりで北 がなんと威勢よく織くことよっ

いに氣勢を擧げた

家を來るべき電縮倉職に提響、會議錄頭に主力艦問題を討議すべしと提唱すること明白となれ、野人一萬五千噸、 備砲口徑十四吋、代艦建造工事期間延長に避してゐるが、日本海軍は國民負繳の輕減と電縮後に放ける濫船に斃締縛の員め 建してみるが、日本海軍は國民負繳の輕減と電縮後に放ける濫船に斃締縛の員め

豫備交渉において

主張の貫徹を期す

意見を聴きたる上決定すること

阮玄武軍は寢返り說

を眠るべしとの意向政府部内に有力となる

米國全權は六名か

原東京十五日発育』太田陽東長官は十五日午前八時首相智邸に演り 首相を訪問し来。年度陽東鵬豫集に からか充金級縦艦隊につき監察

濱口首相と懇談

存れられざる場合は本管議と並行して豫備交渉を繼續しつゝ飽く遊之が主要でするも無効なる冒頭調してゐる、此の既よりして來春一月二十一日未會議副艦遊に敵國政府於いて明宗せる通り豫備交渉を重大視し強懈交渉に於て離まら以間膨は本館職に終 でするも無効なる冒強調してある、此の既よりして來春一月二十一日本會議民職盗に帝國いて明示せる通り豫備交渉を重大限し豫備交渉に於て經16の問題は本會職会、京十五日發度」 野英米軍解豫卿交渉は一進一速の狀態に在るが帝國政府は英國の軍務招

主催

七五三の祝ひ

けふ大連神社賑ふ

**学銃強盗に** 

向もあるが、何分輸入組合員中に観合に繋し運動方を依頼して來る製を値下げするより外なしと輸入 巡捕狙撃さる

左肩に貫通銃創を受け危篤

昨夕撫順楊柏堡で

撃の一味らしいので極力取調中である

作業なるも右犯人は刑事態が大変戦の上逮捕した右は溝口巡査組 人組選際現はれ特別警戒中の揚巡補は左肩に貫通銃館を受け目下 人組選際現はれ特別警戒中の揚巡補は左肩に貫通銃館を受け目下

野菜補銀高級社員に泣いて訴へた 選問師を遊起し一父兄の如きは先 選問師を遊起し一父兄の如きは先

恶人 

する純農家の子弟なる爲め衣來同村兒童は全家族勞働に從 素質が一

僻み根性に困る 近く各關係者が協議 關山金州小學校長談

資料蒐集教

接小便をするために夕食を一不被長を訪へば語る 満鐵社員の 健康診斷

度社覧定期健康診断を施行するこ 館全部の膨散、随時艦員も含む)とこなり在連社員約二千人(本分 世際を大方面の 大学の に関する。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいまな。 はいまな。 はいまな。 はいまな。 はいまな。 はいまな。 はっな。 はっな

をして解求の指導に資する為め十 の日附を以て左記各方面へ資料の 機出方を依照した 機用を依照した の日間を以て左記各方面へ資料の を開東艦、補業學務課、旅大兩民 部各方式へ資料の 郷に費する爲め十 ので、 で、

展近母夜の如く出際する拳銃蠍盗 制料者を檢擧

名花ジヤネツト・ 畵 一鑑賞會 ナア主演 至十二卷

つてるた

着せられぬ

一父兄の談

T一月十七日午後六時**坐** 般 協和會館に於て 小人 五十錢 讀者 小人 生十錢

民が値 市民倶樂部が第一聲を擧げる 正目さるその成行 10

説會の開催等で大々的に家賃値下げの第一器を揚げる監報中で問題の成行きは注目を惹くに至ったに會合、之が運動につき認識の結果二體方値下げを目標に運動を開始すべく兩三日中にピラ撒布、液値下げの器が供然感頭して來た、先づ値下げ運動の火蓋を切らんと市民俱樂部の有志は十五日朝契所をが、低宅観にあえぎ、家賃高を喰つ大連市に於ても内地の興論に刺戯され、昨今市中谷方面で家賃高いのは不合理であるとの興論が供然内地都市に懲頭し重大なる社會問題として世の注目を惹いてる團職疾!徭職にみなぎる緊縮節約の監に一説物費は著るしく低下したに払らず、家賃のみ依然として 家賃で營業費が嵩み

大連の観座――浣連町から磐城町に通ずる一旅商店館に於ても、昨今購覧力減退と金解禁を目前に控って常配の苦峻打開策に対命して、て常配の苦峻打開策に対命して、作りを占むる家質が彰も低下せず殊 場末より却つて高價な奇現象 繁榮策として家賃値下の聲

佐つて漁港町商人連はどこまでも いまである 1130日の主歌となることを避けてゐるは歌出が加入してゐるととでありは歌出くないといふので、値下運 商品を安 浪速町商人談

差別待遇問

題起る

金州小學校で寄宿舍生活の

一名に對して

小學生に

方法で運動を起するのと見られて すに家持ちの商店は僅か十指を 漁連町一丁目から三丁目を見渡 である漁選町製商人

家賃を下げ

市の家賃より高く、銀行東拓な こと必然の結果である何んとな なに拘らず食料に大連は内地都 で合理はない殊に大連は内地都 で合理はない殊に大連は内地都 できれば他の物質が漸次低落の傾向 が数年來少しも低下してゐない ことは社會政策上もこれ以上の で合理はない殊に大連は内地都

ようとしてゐる市民俱樂部の有志大連で家賃値下げの第一際を挙げ

との貸家が優に一割以上の利廻との貸家が優に一割以上の利廻がため家賃高には痛痒を感じながため家賃高には痛痒を感じながため家賃高には痛痒を感じないが、これ以外の中産階級が如何に家賃高に生活を脅びやかさ何に家賃高に生活を脅びやかされてゐるかといふ事實は今更られてゐるかといふ。事質は今更らたといふことを公言してゐたといふことを公言して過上げ、長近聞くが考へ違いも甚しい、我

大は社會政策上の見地か な要求をするものでない な要求をするものでない な要求をするものでない な要求をするものでない な要求をするものでない

未検閲映畵を未検閲映畵を

節約デ

車総が関れたと云ふので激怒しA たでに、十五日定期船はいかる丸 大でに、十五日定期船はいかる丸 大でに、十五日定期船はいかる丸 大でに、十五日定期船はいかる丸 大でに、十五日定期船はいかる丸 大でに、十五日定期船はいかる丸

大学で大連警院の際師により、沿を一手中に終了する後間に取り本社会の という 大連警院の際師により、沿地方では各景帯演機際院で全社を 一手中に終了する後定である これは従来の成績に獲するとこれは従来の成績に獲するとこれは従来の成績に獲するとこれは従来の成績に獲するとこれに任本の人ならずに

札の店舗口近江洋行 **企**貳拾圓也 電気時計

年金申込 1、23-4 保険申込 1、23-4 保険申込 1、23-4 保険申込 1、23-4 日本のである。

阿二萬七、公司

三、二元圆

河口の

トの上に叩きつけられ右肩を脱臼 なぐりつけた事から大立臓りを始 なぐりつけた事から大立臓りを始

すとまわれ がばょらが き 幸平こしばいらめるきめらちこか

新共同炊事場逢坂町遊廓に

市内聖總衙四丁目一一大番地市内聖總衙四丁目一一大番地市方へ十四日夜何者かな經路子を破壊して侵入し炊事場より起丁を破壊して終死して逃走したが沙河会職では緊盗等落に降節形大いに 西部大連にIDEAL食道樂 ×會食に X選家按同伴に ゼヒ衛利用下さい 沙河口仲町六十九

大印の金

漬物問屋 大連市播磨 大連市播磨 大河上 澤庵發 七御家庭向

屋商店

獨特の風味を誇る

大景品付 米國ュナイ 界に誇る 東庵支店 新賣出し 月 宣傳の爲第 " 賦 版 賣 大荷五〇豪塚

斯

に東京韓強西下された『食鼠は東京韓頭の喜久子姫と母君』 久子姫は鼻室の養庫たる奈良正倉院特別拜観のため去る十一 久子・姫・奈一良・正・倉院へ やがて高松宮 やがて高松宮殿下の妃殿下 日朝特急で母

総分して賞ひたい」と申請する處 準署に原田保安主任を訪ひ落成の

君實枝子の方と

三割値下

交望は當然 高い證據には利廻りがよい 市民倶樂部の有志談

審の支那人一名を引致して取職べ 一年損りもなく同點の刑事職も全く で既や休の活験を続けて居るが十 四日を沙河口管内において擧動で ではいて帰動で ではいて解して居るが十

電報の取扱を開始すべく目下手配。 ・ 一月二十一日より右三瞬に及者に収 ・ 一月二十一日より右三瞬に及者に収 ・ 一月二十一日より右三瞬に ・ 一根に ・ 一般に ・ 一根に ・ 一成に ・

女店員募集

十七歳以上十七歳以上

大連市紀4町二十番地

商

店

年ごろ旅大道路其の他おいて理盗 製件を働いた山東省生れ住所不定 要件を働いた山東省生れ住所不定

第次な

福徳大連三二四六番

花小內 柳兒

科科科

光連市紀伊可羅本通角

中六

大連市治医町三九(日上丁目

貯金増加 大喧嘩

支那浪人冷還

在閣禁止を喰ってゐるのに描らず 表月廿三日定期船はるびん丸で内 地に潑避された小日向概念は交々 人りを企てたが、今回く際口機の 不実体に纏り更に感口に搬つて製地 手に捕えられ十五日出機はいかる のに描らず 窓を破り侵入

全科品店御希望の方は を対点が300万は

理

大連市浪速町 商

絕對責任保證

を御願します

金解禁前の 賣 出

日日日

大連整岩町二九柴物悉皆野高概常 大連整岩町二九柴物悉皆野高概常 大連整岩町二九柴物悉皆野高概常 大連をして残ひ震および楽直しの設女 として残ひ震および楽直しの設女 として残ひ震および楽直しの設女 を片つ端から入電し或ひは寒金を を片つ端から入電し或ひは寒金を を片の端から入電し或ひは寒金を を片の端から入電し或ひは寒金を を片の端から入電し或ひは寒金を

緊縮の合理化 價格の至康

破害件数餘りに多く本人も失念 被害件数餘りに多く本人も失念 をあるもの多いとの事で心當 はてあるもの多いとの事で心當

公衆電報取扱

金福線の三驛

横豐 吳

店

記服 Ξ

大連港の積出生 内地の牛關稅の撤廢は

政府に勸告

民間銀行家の希望を齎らして

池田氏藏相を訪問

を登取に制職し金融無限歴につ 2月外後 を登取に制職した三井銀行常務心田 2月外後 の時代井上版 されてある

協・議の

青島牛との競爭を誘致する 

保險會社が活躍

であるが、馬城の議楽が甚だしいであるが、馬城の議楽が甚だしいであるが、馬城の議楽が甚だしいであるが、馬城の議楽が甚だしいが一般では世ないため商取引極度に沈今に逃上の官訳の爲家の下落で目もあてりに逃上の官訳の爲めまあ無順商人の目指す處は興京を中心とし中人の目指す處は興京を中心とし中のと場合である人の目指す。 特産商爭奪を開

然るにブール以外の保 得意の事態を輸はんと

下落した総替のはめに輸出を刺収 かけて下落し、十三年末には三八かけて下落し、十三年末には三八 も増加したが輸出も更に増加して著しく野場を膨出した。十五年正貨現で著しく野襲した。十五年正貨現で著しく野襲した。十五年正貨現である。 した事實があり、

総の値下りによつて製造増加にも が成の打撃を受けた監が多かつた 昭和二年以後の貿易は監督は解禁 見込みの削減によって反落し四四 五規が至六弗にあったが輸出はさ たが、と思はれる配もな ◆…家屋の建築又は置め時代に適應したる

金輪解禁と 本邦の貿易 ルピンでは本月初めは一元六十 手控へ 

方見下げ五分とし又五厘方下げら 日五分よの四分五厘に見下げた、 日五分よの四分五厘に見下げた、 日五分よの四分五厘に見下げた、

またり

利下げ

撫順背後地の經濟事情

支那商人は日本商品を歡迎

五分か

ら四分五厘に

外商筋は

和育準備銀行

強め、昭和二年をは替の下落に無 ・本野物質の関際的地位を見ると ・本野物質の関際的地位を見ると ・本野物質の関際的地位を見ると と見れば形分であると総織した。 果して及ぼすか 

如何なる影響を

から招致せられるであららけれ来から招致に一層態高純内地品及び食料品の下落を来すであらう。本郷物價相數の側高を以て直も事は、物價指數の側高を以て直も

金融製品を整合の記念は本地質の記念は本地質の記念は、自然能力量加の記念して入超の骨大を整然、監督ので質繁の記念は、最近著なしく改善されて来た。此れは本地生産力のは、自然能力量加の結果である。作然本地質

等の歌から見ても監替が貿易に開響する力の方が強いやうに思はれる。 戦時戦後の異常時は別とする。 戦時戦後の異常時は別とする。 大幅出の機増と出題が試替を平似ったとしめたものであり、大

見に避した。然し織入の結果は憂厲される様

へるであら

は平松之に出てゐる、元を流線をは中松之に出てゐる、元を流線を出て母日先物及現物手の少くとも一千耳の商内が行はれてゐる、尚非常な謝浴を示したのは南行線の運賃率が値上間線を表したのは南行線の運賃率が値上間線の運賃率が

勝落の歩調が急激であるためワ

(上4の)

型してゐることは言ふ迄もない 本だが昨今の買人類の旺盛なる とは概れ南東向けである◆先 物一萬六千箱現物七千箱の手合 は最近に類例なき一事であらう 様大豆も仕手關係にて相當の披 であるか結局保合商狀 に過ぎない▲現物大豆は油坊二 下新昌、建成二十五車であらう りの豆粕生産高は五十五車で五十車 現粕は瓜谷、東亜、油房で三萬 の手合であつた▲近來豆粕の採 の手合であつた▲近來豆粕の採 場二十事 場二十事 場二十事 の豆粕生産高は五萬枚操業工

貴金屬際 毛皮特價賣出 信用ある 大村洋行へ 李 天 天 天 天 一

來 五千百十三人次が東京市の一萬七 て見れば尤も千萬な悲鳴だ 朝鮮人の内地を と大阪市四萬 関、マレイ半島のゴム湾 ・ 大豆の世界 ・ 大豆の世界 ・ 大豆の世界 萬圓の財産家に成つて 大阪 4

市

况

地失業者二十七萬人

今朝の定期は依然差したる新材料 を見ず大豆は只仕手腿係にて四、 工錢の上下あつたが結局保育豆粕 は動かず保合豆油は買人氣旺盛に 強調・辿り手合又賑ひを呈ー高樂 は一個では、100円である。 は一個では、100円である。 は一個では、100円である。 は一個では、100円である。 は、100円である。 は、100円でも、100

報塊及為 開致銀塊 三丘大分丸 同 先物 三丘大分支 五貫銀塊 五田比人分支 大米含書標準之仙大分支 大米含書標準之仙大分支 大米含書標準之仙大分支 大米含書標準之仙大分支 大米含書標準之仙大分支

五品

の新東(引言)

(場) 同 ウェバー式鐵筋混凝土煙突エル 東洋コンプレツソル式混凝土基礎杭工事 特許、テスタル式混凝土基礎杭工事 特許、テスタル式混凝土基礎杭工事 特許、テスタル式混凝土基礎杭工事 が済スクル式混凝土基礎杭工事

マウテナクリーム。『月間は、脂肪中性のヘイゼニッククリームで、肌症れを止め、色を白く、キメをこまかに、肌をいきいきを与しく保護する ——皮膚の原薬料として遅れのクリームでございます。 部を変形なさいませ。 部が変形なさいませ。 中六十銭、北印一個 ・ 全版の小間物店業店に ・ 全版の小間物店業店に ・ 全版の小間物店業店に

月即

能時時五代式テルを鉄筋ラクリ

獺、狐各種新着

血、血だ。ひどい 関係に続んだ壁を絞ると、 勝大、どうした?」 外の

でないので、大の瞬間には、五 を対るが、連になつてみるなんで を対るが、連になつてみるなんで の太平大が、瞬いて爪をもいだな の大平大が、瞬いて爪をもいだな の大平大が、瞬いて爪をもいだな の大平大が、瞬いて爪をもいだな 本が山来ない。

本祭持為者に限り社告の如く問讀者優待割引券

滿洲日

社

洲日

社

讀者優待割引券

一個では、まだ火の駅かのを形を で、足にかゝつた太平次を抱き起きと、抱いた腕から脳へかけて、 で、足にかゝつた太平次を抱き起きと、抱いた腕から脳へかけて、 とり動だしい血ーー

を 東京でうろついて居た頃、「第七 大國」の封切を見そとなって、 大國」の封切を見そとなって、 大國」の封切を見そとなって、 を は を しても 問題にならり、 一年 中になる とても 問題にならり、 一年 中になる とても 問題にならり、 一年 中になる とても 問題にならり、 一年 中になる と でも になるが、 今だに、 ままり かきんばられる かっちん に ままり おり は があった と に ままり かきん に ままり かきん に ままり と ぶんぱら、 ゴバンキラ

一般の中に低こんで、いゝ加減奥ので、いゝ加減奥の中に低こんで、いゝと前のめりに土 「なんだ、兄い、何をやつてるん ながら太平大が鏡前に鍵を と笑つか

前へ出て、 気取つて、もう一歩進んだのは「お前つちは一體なんだ」 第七天國漫語 じるの

はい涙を浮べ乍ら微笑む。

Faith

Love Courage

「養婦の中に初心らしいのが一 どつちにしたつておめし、身に 心らしいのが一人 方、度五郎の舟子共にしても海賊、 下、底五郎の舟子共にしても海賊 云ひながら一同をずらりと見頭

相手は離十郎だからな

それが腰のガヘ手をかけながら笑つた奴もある。 は大人七十銭小人四十銭 に割より社員俱樂部事務所に たて發費するから漸員にならぬう たて發費するから漸員にならぬう 滿蒙風物映畵

活の村田監督一行は水川氏の窓内諸線情報跳の招聘にて來議した日 しのた時、……ゲイナーは目に一して最後に視力を失つた夫を抱き

で のアラスカ探險」を持つて沿線へ をか言ふ新しい解説者が松栗氏の とか言ふ新しい解説者が松栗氏の とか言ふ新しい解説者が松栗氏の よく「第七天國」が上映される ことに確定した、先づ十七日の夜 で本試主催の監賞書を開

大連市

衛生工事の御用命は関係の 高高元

新聞III 會

氏ルレーアフ・スルーヤチ 譲ーナイゲ・トツネヤジ

超特作品

御をねがひます とうぞ御安心 とうぞ御安心 は次います 鉛分を含んで お嬢ちゃんー を鏡に見惚る 御園白粉を そつとつけて お母アさまの

粉白 な

ク 園油 はに下粧化な

わませんから

この季四億。湖は水粧化めごれあい良番

「女の身の代だとよ。黄金百枚だ 「酷か、此奴の腰の鍵を取つて穴

B んであるちしいの

好の主献で、近づくと からない と思いました後の 準髄の中で、天然の中の大松かと思いせて黒く立然の中の大松がと思いました。 天 **聞ると要声があつて裏庭へ出る。** れて行く。戦をつきあたつて左へ なんだ、今第一・ 主献日に、五六人の個人が影響をはけたやうな影がある。

何れにしてもすつかり声騰を抜かれて、鄭明で荒波と騒ふず合たが、ぐらの音も出ない有機だつだで行って、その鋩子で太平次の屍とながら、 がないのに氣づいたであいろ。 なり でないのに氣づいたであいる手合には、この血刀の男には、左の手には、左の手 一人は既に挑対を提げてゐる。見せて笑つてゐるのである。

前賣券

▲ 帝國館 松竹、鴨作品伊藤大輔 ▲ 帝國館 松竹、鴨作品伊藤大輔 監督主演月形龍之助主演「斬人 監督主演月形龍之助主演「斬人 監督主演月形龍之助主演「斬人

里見明主演

は一行は水る十八日歸連の深定本また満蒙視察中だつた村田實氏一行は昨日寅京城を出襲監洛の途に記いた管である▲今戦協和會館で上映される東京シネマの「國難と映される東京シネマの「國難と大映される東京シネマの「國難と大映される東京シネマの「國難と大映される東京シネマの「國難と大映される東京シネマの「國難と大明を表表している。 地に行つてゐる東京シネマの荒临

面图

かった。 大学では、 、 大学では、 、 大学では、 、 大学では、 大学では、 、 大学では、 大学では、 大学では、 大学で 大学では、 大学では、 大学で 、 大学で 、 大学で 、 大学で は、 、 大学で 、 大学で 、 は 、 は 、 は 、

肺病、 膜には

木 洋 行

801

T 九七五番

新規開店

おしろいのトキがに お髭剃のあとに 新小大・デンタを持ち、 型指摘で 四三五コロケーン 大・デントーン は一般には 小中大 類類を 三五七クリ 十十五十 銭銭銭ム

30%



東京市日本機横山町

(四)

異

(170)

にて満種化級及び北域各地を観察する豫定であるが、今回、流域の最初に動き、 関密をは、「歐天樹」第二篇に離手。 関密は、「歐天樹」第二篇に離手。 は、「歐天樹」第二篇に離手。 は、「東大樹」第二篇に離手。

でない、ためでは、一寸手をかりてでない。からで、一寸手をかりでは、これでは、一寸手をかりて、一寸手をかりで、一寸手をかりで、一寸手をかりでは、一寸手をかりでは、一寸手をかりでは、一寸手をかりでは、一寸手をかりでは、一寸手をかりでは、一寸手をかりでは、一寸手をかりているが、一寸手をかりている。 くどつの群のころ

大といふ男を起して一緒に連 が間を破つて全ての事情を分明しと、入口の方面にジリノ〜と肥 と同時に、パンといふ音が背後と同時に、パンといふ音が背後 と皆か、異状なものを感じて立

黑製束の怪漢が五、六人、酸を

といったかと思ふと、何と無早といったかと思ふと、何と気が、血刀が陽炎のやうにひらめいて、ボッと肩臂へ双が喰ひこ を失った。大地が立つて、大 要は、

と、流石に海賊も色 前二回を通じて盲目の機次の役を振り當てられた中根龍太郎、 
お装試験の日中々出て來ない、 
扮装試験の日中々出て來ない、 
お装試験の日中々出て來ない、 
お表がやう 
「おかつてゐる 
「おかつてゐる 
でるてもちゃんと出來るよ」と

として競表される筈である として競表される筈である

『く。棒に性女き若の世くねまあ

希

前時 ざん 演助郎太龍根中・子絹水若

血 合東亜作品 河合特作 和一

1 日

御期待外しき名篇 極本十五日よ公別 一八娘巴白波 一八娘巴白波 一八娘巴白波 一八娘巴白波 一八娘巴白波 一八娘巴白波

沤速

到

RR

金三十

鳥羽伏見

関東三右衛門…喜多さん 根岸・東一郎…彌次さん

の巻開 の総公

大會

料産

A.d.

續章駄天 池田富保監督時代專劇 大河內傳次郎主演 爾次喜多 河部五部五 **美純** 粧國

名優アレッグ・Bフランミス氏主演性格アレッグ・Bフランミス氏主演

スターの噂

また 様の 樂 聖 東 藤間林太郎、星野 進 単月あやめ、歌繁英子」 かっクス社十大作品の一 ・アラン・ドワン氏監督 英一復祉第二回監督作品 (特別與行なれど) 演共 大好評の●; 十四日よ

\_6 お

每: K お 手入 寒。 < の肝心ま す

な時

どうしても

頭痛上

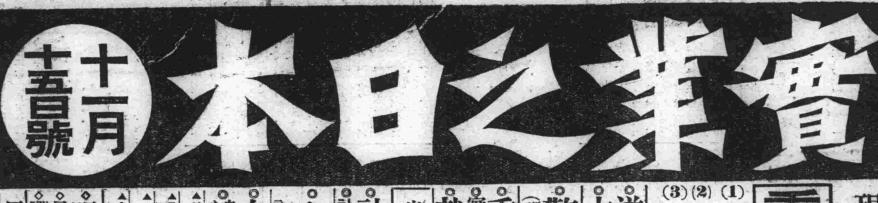
積資

金金

本立本

壹億圓(全額拂込濟) 壹億圓(全額拂込濟)

(日年土)



社員をおりませる五十萬國は 加は今から (電力事務)

支店所在地

**形東屯、吳孝、吉林、搖順 | 本素樹、安東、興隆梅** 参州、、曾疆店、湖子鉱、駿山、奉天、小西鼬、公主樹

現下の重役賞與は

標指の題問支對的本根

資本金



量千 萬圓

振替(大連)三三〇番電話(代表)四二二番

では本書である。 心理的に考察し、兩國民族の國事角執の 心理的に考察し、兩國民族の國事角執の である。

最近支那財政概說(新刊)北滿洲支那農民經濟(新刊)山東避難民記實(新刊) 酸 酸 質 行 所 所 阪日

一九三〇年型

**養職**佐田弘治郎著

位本様客御賦月月ヶ十 ヱレ ジュラツ 能口動印刷口調 シ装了置 蓄音器 BBB有店所行為IS SONEARS 會 西 榮 角町速浪連大

十一五圆、二十五圆

大連市日蔭町

秋山商會洋服が

十圓、十五圓、二十圓

(掛賣一切御斷り

設新 ハーニャ

同好各位の御清遊を希ふ 泉

H

製 品

-0-鐵橋鐵桁、 付汽罐、 鐵骨家屋、豆油 親切なるサー関のなるサー -IOO c.c. ツヰン VS型 七五O c.c.ツヰッD 型 五00 cd.シングル C 型 三五0 cc.シングル B 型 一人様サイドカー LT A IS 型 二人業サイドカー QT 型 月九學四初昭 を物語りませらか? 御商賣には大型或は小型運御乗用にはサイドカーを―― ハーレーダビツドソン もの モーターサイクル販賣所

一第用信

の

東京·赤坂 溜池 町十二 大阪·此花區上驅島南一丁目 大連·紀 伊 町 四 十二

が 見樂養に菓子 健心 胧 切 康 0 產 遺: 撰字が す す !!

馬上の御英姿豊かに

露支密約暴露に

支那委員が凹む

太平洋會議と松岡氏の論陣中

E

ては左の如く語った

聯邦戦備銀行再度の利下げについ『東京十五日發電』ニューョータ

「石雕峰御徹をれより自動車にて上志鋭の喇獅御立陸所に徹で、大大皇陛下には十五日午前九時二十分自動車喇獅にて大本北大天皇陛下には十五日午前九時二十分自動車喇獅にて大本の大手を開発して大本の一夜を御手狭な行在所に過させら

にいる。 はいである。そうするとボーツマス のである。そうするとボーツマス のである。そうするとボーツマス のである。そうするとボーツマス のである。そうするとボーツマス

と置つて、満洲番体談判をすました日本は臓にお人よしと云はざるを得ない。一方支那は此密約をあくまで秘密にし、日本に駄していいまでのである。

支那の最も痛い急所を太平洋会は信念を持つて居る人であるから。

寧ろ呆然たらざるを得ぬ。

本語ったに選びない。

太平洋會職に似て小なる命職

脱し頭本元貞氏又之に満線紐育事務所長の線

火蓋を切つた特別大演習

必らず完成

金解禁に開い井上城相言明

信じて居る

米金利低落

解禁に有利

H

遅れても來月一日迄には豫告

首相に進言

解禁に

T

池田成彬氏

豫告に對する形式

明せる爲替相場より判斷するに一月下旬たること疑ひなきものよ如くである、豫十二月一日となるであろうと見られる、而して解禁實施期は井上藏相の屢々言めたが、豫告時期は二十一、二日中と期待せられ、若し交渉遲延せば代入金剛備交渉成立の入電あり太繁金毈熱激告の聡明を發することに決し十五日の殿際に誤喩を求は借入金剛備交渉成立の入電あり太繁金毈熱激告の聡明を發することに決し十五日の殿際に誤喩を求は借入金剛備交渉成立の入電あり太繁金解熱激告の聡明を發することに決し十五日の殿際に誤喩を求に横続い援助を得る見込み立ち且つ今回のニューヨーク職邦製備銀行利下げに依つて借入金製約も共に構善い援助を得る見込み立ち且つ今回のニューヨーク職邦製備銀行利下げに依つて借入金製約も共 日發電』津島状務官の英米銀行艦に對する諒繁運動は非常に順調に進行しつゝあり、完全

へなき趣きの進言をなすところあいの際解禁時期を譲告しても差支 状況頗る好調に聴じつゝあるから

政友會の

態度注目

東京十五日發電 池田成彬氏は 十五日午後二時半濱口首相を官助 に訪ひ約一時間に譲りアメリカば 東の狀況並に金解禁に関し内外の 東の状況並に金解禁に関し内外の

**解禁問題に關する** 流言蜚語を嚴重取締り 法規に觸るゝ者は容赦なし檢學

東京十五日秀電』定例隙離は十 五日午前十一時より首相官邸に開 続、首相以下各階院塚斯(安奎、 ・ きのふの定例閣議

關東州特許法

勅令愈よ公布さる

來る十二月一日から施行す

にも適用

国特し豫備交渉に於て英米の諒解 とマック首相との交渉經過を報告。を得るやう全力を審すことを申合とマック首相との交渉經過を報告。を得るやう全力を審すことを申合とマック首相との交渉經過を報告。を得るやう全力を審すことを申合

大季節に入つてからのは替勤策 大季節に入つてからのは替勤策 大季節に入つてからのは替勤策 と間する事が安営と信ずる故 を強告する事が安営と信ずる故 を強告する事が安営と信ずる故 を強告する事が安営と信ずる故

關東州に於ける特許權、實用新

第二條 特許法、實用新常二條 特許法、實用新常二條 特許權、實用新力は關東州に及ぶもの力は關東州に及ぶもの力は國東州に及ぶもの力は國東州に及ぶもの方は國東州に及ぶ。

第二條 特許法、實用新案件權の效 意匠法及著作權法中の罪に關 する規定は關東州に及ぶものとす する規定は關東州に在る者に 對し之を適用す

日より之を施行す

西北軍總崩れ 蔣氏、楊杰軍に追撃令

追認が、 乗し潜場方面に無別れとなって退 乗し潜場方面に無別れとなって退 乗し潜場方面に無別れとなって退 が、 が、 では場合を要したと 鎮江英租界

引機終る 決濟銀行の 定数要旨

人削減

佐分利公使奉天に於ける

根本方針を決定 奉天で重要會議開催

| 「民事特電+五日数] 本日支那職 | 定職備委員會を開職し職度を記したでは奉天において默索交渉基本職 | するとの概が支那側に達した

氏は十四日午前赴率した、驚支交のハルビン特徴十五日禄】蔡進升 祭運升氏の赴奉用務 砂趣館のため張氏から揺電された

且つ満州に対しては一種の國是的。 に関しては幾多の苦いឈ線をなめ を持ちましては幾多の苦いឈ線をなめ では外務省域に人と成り。 戦争の直接原因とはなったのであった。 大。其成功が十年後におけるド国 た。其成功が十年後におけるド国 の直接原因とはなったのであった。 である。 1ションを起した事がある。 て今度の余、徐雨委員と同

は三人撰位で馬車で町中を公然費 ・ は主人撰位で馬車で町中を公然費 ・ はれたとの飛鞭を到してくる。最も被害の多い ・ はれたとの飛鞭を到してくる。最も被害の多い ・ は全く往生し昨今は古城子の大門とのでは多の炭都名物の ・ は全く往生し昨今は古城入口古城 ・ ではってるるといふ。 ・ ではっている。 ・ では多の炭が名物の ・ ではっている。 ・ ではっている。 ・ では多の炭が名物の ・ ではっている。 ・ ではっている。 ・ では多の炭が名物の ・ ではっている。 ・ ではっている。 ・ ではっている。 ・ ではったが一路ではっと。 ・ ではっている。 ・ ではったが一路ではった。 ・ ではったが一路ではった。 ・ ではったが一路ではった。 ・ ではったが一路ではった。 ・ ではったが一路ではった。 ・ ではった。 ・ では、 ・ で

ンに ニーーニ後 四不四不不不二二二四五場 四 四 五五四五入引 〇中〇中中中〇〇〇〇

東京株式(長期)

10三大五五五 0三大五五五 四不不次二大五五 0申申 000

は頗る痛のすべきとなし之が野策大関脈に敷が低気がを行はしめる大関脈に敷が低気がを行はしめる大関脈が関係を行はしめる 帰禁後告一所日中に迫れれ

高く観境廿二片十六分九と保合海線時市場は常日入電のニューヨーク戦日四八弗四分三と一ポイントの大力と保合海が大力と保合海が大力と保合海が大力と保合海が大力と保合海が大力と保合海が大力と保合海が大力と保合海 一ポイント方上伸を示し前して、八分一の高値を唱へ前日に、一月野米四九弗丁度の質に 一跳英三十二分一を

分・日地戦へ米十二年の一日が戦争の大力が一直である。

三五、七二〇

九、六四〇

である
一、獨國中央銀行の發展に對し之
に對抗すべき武器は主として第
一、獨國中央銀行の發展に對して
関をなす時には軍役會は豫め直
理をなす時には軍役會は豫め直
理をなす時には軍役會は豫め直
の不の機會を與ふこと
である。
こと重り関際銀行に

大汽の購入船

鳳城丸と改名

合經臨 常時 常時 計部部 計部部

四一三、大〇三 川〇一、四田川 11111至0

シチーも皆協調を遂げてゐるに之で香港上海銀行もナショナにはい次第である、爲替相場

在外正貨三億で 決濟準備は整ふ 見入金交渉は適當の時期に 

計合節既經節既臨

定經常減

部

定減經經

一七、〇五〇二十七五〇二十七五〇二十七五〇

ド銀行は贈尿が合を五厘引下げ八【ワルソー十五日穀電】ボーラン

米陸軍長官

危篤に陷る

波蘭銀行も

大連汽船においては英國ロンドンよりノールエー船ガード號を購入 よりノールエー船ガード號を購入 大連汽船においては英國ロンドン 大連汽船に関域丸と船名を變へた ので改名並びに侵船舶契無證書の ので改名並びに侵船舶契無證書の があったので、十五日大汽本社の があったので、十五日大汽本社の があったので、十五日大汽本社の があったので、十五日大汽本社の があったので、十五日大汽本社の があったので、十五日大汽本社の で、十五日大汽本社の

額費

定

經時,

額費

一、010

られてゐる 野する組織的行為を定数中に認め 野はなほ中央銀行は此種の関際銀行に

冉び濃厚
となる

蔣氏に編遣費支給を拒絕され

反蔣的態度

何應欽氏も寢返り說

大。情人期間は特産輸送の最盛期 間とされてあるも大陰三月末の年 間とされてあるも大陰三月末の年 関とされてあるも大陰三月末の年 の最盛期

一日大連出帆の湾通丸にて出發す たが、左記四名が採用され來る三 十日人事職長の訓示を受け十二月 十日人事職長の訓示を受け十二月

は、 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 

プレミアム附く

東鐵の配給不圓滑に

特産積込貨車に

登記書類を互に公布した 

補繊本年度採用の専門學校以上卒 特に入營・明語學の試験を施行する こと」なつたが、受験者は二十三 こと」なつたが、受験者は二十三 こと」なったが、受験者は二十三

▲ 市田順浩氏(福川縣検事) 同上 ・投宿 ・投宿 ・根がで四郎氏(官吏) 同上 任關東廳遞信書記

青本 **野** 二二二後 九九二九 三二九 〇七九

二五四二五六 三九一〇六六 〇〇七一〇〇

大斯後場《單位銘》 一時中(112 117至 18 公 11時中(112 117至 18 公 11時中(112 117至 18 公 11年2 117至 18 公 11年2 117至 18 公 11年2 18 公 11年3 18 公 11年3 18 公 11年4 18 公 11年4 18 公 11年5 18 公 11年6 18 公 11年7 18 公 11年7 18 公 11年8 18

本社に於て行ふと

一一枚数

間の留感である間の留感である

満鐵採用社員の

語學試驗施行

車區安東分區牧山修之淮 市區 新斯勒為寺 开宙維、牽天列 方再務所動為寺 开宙維、牽天列 情報觀吉林在動木付鎮維、康務

ることに決定した

理學 (學校) 不明刊 (學學) 不明刊 (學) 是 (學) 不明刊 (學) 不知一 (學) 是 (學) 不知一 (學) 是 (學) 不知一 (學) 是 (學) 不可四 (學) 是 (學) 不可四 (學) 是 (學) 不可四 (學) 是 (學) 不可四 (學) 是 (學) 不可可可 (學) 是 (學) 不可可可 (學) 是 (學) 不可可可 (學) 是 (

滿鐵貨車借入

鮮鐵より廻送

學生決まる

文那視察員 支那視察員 支那線察員は左記二氏に決定した 安東大和小學校長・手島幸三郎 大演朝日小學校長・手島幸三郎

定期後 一月末(至) (整調) (整調) (整理) 一月末(至) (整调) (整调) (整理) 一月末(至) (整理) (整理) 一月末(至) (整理) (整理) 一月限(1140)1110 (1110) 一月限(1140)1110 (1110)1110 一月限(1140)1110 (1110)1110 一月末(1100)1110 (1110)1110 (1110)1110 (1110)1110 (1110)1110 (1110)1110 (1110)1110 (1110)1110 (1100)1100 (

一般方理、其上に六百十一萬六千餘 大理、其上に六百十一萬六千餘 と主息せしめて居るのだが を開い、其上に六百十一萬六千餘 と

開拓され

競談器と

最ぶて先鞭を富瀬の利用に富める人のであらうか、左ればして何らであらうか、左れば

號

世の如き客源を包攬する中米器 地の如き客源を包攬する中米器 で努力に続けて居るのは、その原因一に交 で居る事をも響ければならぬ、即 で努力に続けて居るがならぬ、即

東に同國南部のオウサカ並にテワック地方に集合したが、そ 多成功者を輩出せしめた、然るに するや、メキシュ全土は革命に表 でに革命を以てし、折筋の開墾地。

で居るが、交通の開けない マホガニ、シダア等の良材

見交此地方に最初の日本移民が基 はテワンテベックの地理的形態を はテワンテベックの地理的形態を が、私

ホネッギ

人を玉にす、斯した殿遊の間に搬 される者さへあった、併し殿離は される者さへあった、併し殿離は の間にかり、 でに革命を以てし、折検の間敷地

配人口の

る邦人の等職に附してならぬ有器があるが、今後海外に發展せんとす

中古二と

五丁日二三一大連の

三河町二 池内 温八六七田

習字 递成教授畫夜

心膜痛手足の痛む働方律

漁速町 山形洋行 電7八十七五三河町 地內 電7八十七五三河町 地內 電7八十七五

からグワテマラへ織く未製の歴史を顧 みて、南部メキ

であらればならぬ。

中米ご日本人

に密接なる關係を有す

(35)

決して遠くないと

**快して遠くないと想像して居る。** ばなるまい、私はその時の到來を 詳とを連繫する爲に思ひ立たれね

その中の一部は鄭次南方に鴫 その中の一部は鄭次南方に鴫

との感じ

極要地と して帰目されて

元して高原を成し、

居る、氣候の點に於てもテワンテベックから、スシアテ、シャムベリュ附近までは北海十四五度の熱感なるに揃らず、海岸に遊つてを記集、平地と高原との温度に非る結果、平地と高原との温度に非ったがあって、前者は平地等の相違があって、前者は平地等があって、前者は平地等があって、前者は平地等があって、前者は平地等があって、前者は平地等があって、前者は野五十八度と解せ

常陸町 7

塵紙

弱質元が度からに実験内に実験内に実験内に実験内に要素の三山島紙がしたが、がい、

渡航した當時

古る沃野は線ゆる影産物に適して ナ等が重なる者だが、殊に海岸に ナ等が重なる者だが、殊に海岸に が、ない、ボナ

ワテマラの北部は有名な大森林 酸に成功した邦人も相當ある、

私様で

り十月までを閉期とし、十一月よく一年を乾湯二季に分ち。五月よ

時、我國はこの

も當然な事柄である。

時、それの發案者たる北米合衆國時、それの發案者たる北米合衆國

(苑御宿新の日二十)。 ◇々人たれ

神宮競技

主事

田

(E)

に並んだ時は如何に満洲の星のマークを腑に附してス

幅の範圍が自治領、屬領地、

社會防衛の範圍を擴張する

ら社會防衞と相俟つ

範圍が擴張

電光のやうないというで

在早さと石火の如き鋭一行戦略——1 理の沿線をスケールに 計畫せる赤経の意 地を中心舞臺と さをもつて際

酸略――其の巢窟と根域を樹事一般もので暗紋、破壊の大陰謀を

暗殺、破壞の大陰謀 活動

政策の基礎觀念は、

强窃盗や家宅侵入

巣窟を

P

0

暗夜を飛ぶ四臺の自動車 支那探偵局の

撒めた

日

報

防衛も國家の自衛もその生存を保存を保つためである。個人の正常

してゐる。太平洋問題會議が三回洋方面には濃厚なス低氣壓が彷徨

争調の めために武力乃至 安が存在する。抗 と 大車艦の支那袋低局の活躍は正に 大車艦の支那袋低局の活躍は正に 大車艦の支那袋低局の活躍は正に 大車艦の支那袋低局の活躍は正に 地に懸躍げられつ」ある

遠征にとやかく云ふのではない、 は君の投稿を見て君の機にコ いて自分自身の愚かさを公表して 日ので自分自身の愚かさを公表して 日ので自分自身の愚かさを公表して 日ので自分自身の愚かさを公表して 日ので自分自身の愚かさを公表して 日ので自分自身の愚かさを必表して 日ので自分自身の愚かさを必表して 日ので自分自身の愚かさを必表して 日ので自分自身の愚かさを必表して 日ので自分自身の愚かさを必要したつも 日ので自分自身の愚かさを必要した。

ちまだ一銭も献金はして居な たらう、五十銭でも一園でも から直ぐに献金し給へ、才の事 がらず、月下の急務は日本を窮 日だ、月下の急務は日本を窮 日だ、月下の急務は日本を窮

瀬州住人生に一言

役書歌

迎

脚減する、「類似の一行には長い沈 地の星の光が脚かに他界の暗路に 地の星の光が脚かに他界の暗路に 

斃れた探偵ギアントフを射殺した其夜、九月十一日ハルビン瞬頭で

出動

を終

出動部隊は徒歩にて早春に到着し、大人を登職を行はれてゐたが、この穏やうなく全部輸送を終へた由である。

女給電点

女給

**社員** 招聘固定給支給

い、一路自動車を開つて赤色テロした、鞍原連の目的は彼等では無機の運の目的は彼等では無

縛されて仕舞つた。 めテロリスも全く行動の自由

の家に躍進をす

不意に五名の怪しい人影が動くと みるや自動率目がけてモーゼル銃 は一然に下車に事態を防震物と して應職した、素酸とばかりに刑事 して應職した、素酸とばかりに刑事 して應職した、素酸とばかりに刑事 キン類値が今は自然に改宗し赤色 キン類値が今は自然に改宗し赤色 コノノワとプストウオイナの時名を逮捕凱歌を擧げて見揚げた――

政治 0 諮問に きん

ビク

の

大會によ

額穆)孫

邦文 タイピス

タイピスト短期養成

小林又七支店

モジ

療治御好みの方は

吾が高見嬢

さ

五が高見嬢は一回のフラインケだにせず燃揚道っない、サーム総らざるに苦高見嫌っない、はパット臓がる「満洲高見頭み」はパット臓がる「満洲高見頭み」でるに既上勝者の誇りが感じられる。ゲームは降割物のものであり、酸は 三等となり、三百米に於ては 三等となり、吾人の後期以上の好 成績を收めた、觀紫の賞讚の的と なり融宮競技の花形となつたのは の決勝に於ては百米に腕半分の差が高見線は百米及二百米に於て統 が高見線は百米及二百米に於て統 が高見線は百米及二百米に於て統 が高見線は百米及二百米に於て統

を思はせたか、全國より選り ちれた猛者中の経者八名の決 商州代表が三名も八選した事 百米突レースの障礙であつた 変乳と帰還乳も既れたと云へ でありた事は にれら

一つてある。

吉林省に於て選定 した個兵約四千であると 出動部隊は後歩にて息春に

日間し其眞配+を發躍」たかに記り間に其眞配+を發躍」たかに記りましたい、十一月二日午前十一寺

貸間

獨身動人に貸し度し

ナガ ヲ

通 日書職需電話六一六一 邦文歐文タイプライター

貸

初晉町五 最綺麗 千歲町十

「大学家」 (1) 「大学 **貸家** 霧島町 高等住宅 大山通(日本橋近) 吉 野 遠

吉野町二六 一萬堂電七八五九

電話七九五三番

旭圓

写真 は殷速町鈴木 ライト寫眞館電三六八八 ライト寫眞館電三六八八 ・ 東町三丁目 電五九八二 支那服の準備有日本極際電話ニ五八四番電話三五八四番 

学校 にヤシンス、チューリッン大連浪速町四丁目林西會電気の 一世教町 電四五六四、六八四六 大連浪速町四丁目林西會電気の 四丁目 千葉花屋 電三九九〇 伊勢町の 古着 貸衣 案婚體用 入營 旗大勉强調整但馬町七場 町たじまや電六六県一〇村買入報金上 時計蓄音器

大連市伊勢町(日本橋語) 小身藥局

文配 対映町入口を変新入門随意) 大連案内所 大連案内所 紀 長 伊 門〇町

町

幅で御旅行の事は

醫**西村商會** 

大連市近江

案内です **朮圓明** ★ - 八四話章

くて 事門のヤナギャへ 専門のヤナギャへ 利きめの 多 V 0 は満 日

小さ

身元確實 身元確實 一日前込壹順番拾錢 明別派道 四公廟町五七 明別派道 四公廟町五七 京本等 一日前込壹順番拾錢 早川 梅文雪 が 高 元 七一名 朝九時より夜八時迄 実確 確正 .リア東気脚デニ東漢 番グマケミ諸電 **藏助中田…師剤薬** 前司公記政 地番工工通部监

大連市吉野町三五 野中醫院

入適正度銀行基础

洋堂堂局 藥剤師·· 友田莞爾 電話. 6243 看 大連信濃町市場正門前

性 皮 病(海洋 鬳

現在の國家の狀態に鑑みた。満洲の多期のスポーだ、満洲の多期のスポーだ。満洲の多期のスポーは望ましい事だ、上かーは記まれがわからないのかはこれがわからないのかはこれがわからないのかはこれがわからないのか 先づ時世を知れ

満

日案内

信用

実濃町籠海ビル前十年社

金融 信用並に電話其他 第三ますや 電八四九八

算盤 常盤

の御用命は

家の安福を置り早く画雑を扱いの際高き今日一厘ためとも節約し國際高き今日一厘ためとも節約し國際高き今日一厘ためとも節約し國際高きの安福を置り早く画雑をかり、 生 **店員** 入用十七八歲迄 姓名在社は AA

入用本人來談

シン

宏來洋行

升電話受賞並に擔保低利 親切級密迅速手經に用立

談構の者角田精肉店 西語 愛走せずに貸出 を教社 F.直半行に限る 電五五五七番 電本可賣買並に金融は

版画 員急募有給收人多大 限速町 丁目 番地 後 藤 牛乳

ラヂ

オは何でも

**漁速町モダンカフェー** 浪速町口 伊勢町 ロバン 電話六六六〇 日露洋行 八九電七七七二、九四八四 なら大正牧場 大連牛乳株式會社大連牛乳株式會社

**鶴見** 幽科縣 **薬**及治療 樹科醫院

大太郎 電話四六二九番 頭痛とノ

堂

ラディは何でも大勉强トヤマ商會 電話八七二 五球 本の進充電一回五拾銭 高級優秀品品編修理 部分品は格安實用品 部分品は格安實用品 が選集を表する。 本文五五團より八五圓迄 洋服頻高

一九九、一二一、 電話三五三三番 電八七二二番 尿液皮重 科器毒柏 醫 富 **3**堪広西-稳盤當-通西

备八二五七話電

ガーミシンは常盤樹 ű 電話 電話の図屋質を 低利金融

ラデオな球式一切百四十圓沿率天浪速通 備河島ミシン店電六六八四 流質品中賣· 大口、特·勉強·

濟生醫 沙尿生殖霉病 大連三河町二十 毒病

弊店の特色

金針他其網金非是ラナエ細

二八町濃信市連大

出口

中

専の一唯洲満へ店弊の店門

蒲 (手切品商)

店商村西

皮層 性病輸養消疾

地域屋質店

病

の道

鐵貨郊外(滿蒙新風物紹介二等入賞作品)

B

鮮人百五十名が

原

悲慘な奴隷生活

吉林省の同賓縣下で

遁出した同胞が<br />
救出に奔走

新道路開設計畫

戦跡廻り便利となる

年度着手豫定の

毛皮鞣、染、色

**設豊田洋行戦** 

組察の上敬化に往復十七日頃唯日 古海線を継で來吉當地の學事

大官屯に

又も强盗

公主嶺

新なる直線道路の新設で本工事は後端 ないと云ふ希望であるから明年は是非共起工した。 一本のと云ふ希望である。之に就 一本のと云ふ希望である。之に就 一本のと云ふ希望である。之に就 一本のと云ふ希望である。之に就 一本のと云ふ希望である。之に就 一本の一本、教質の関係上今日送實現しない大 を中り度いと思ふ工事は是非共起工した。 一方をと云ふ様な考へですが、早く 一方であるから明年は是非共起工した。 一方であるが野に通ります、早く 一方であるが手でので不急工事は急れまった。 であるが明年は是非共起工した。 一方であるが野に通りますが、中く であるが、対質へてあますがでれよりますが、明の一部、教質の一方で未が、自己を であるが、中くので不急工事は急れまた。 一方でしてるない青葉町通りやアカ木 でいた。 一方では、 一方では、 一方では、 一方であるが、 一方でしてるない青葉町通りをアカ木 を表示であるが、 一方であるが、 一方であるが、 一方でしてるますが、 一方でよれよりもと 一方でよれよりもと 一方であるが、 一方でよれよりますが、 一方でよれる。 一方であるが、 一方でより、 一方であるが、 一方であるが、 一方では、 一方であるが、 一方である。 一方

本型機器や準常に関行中の二十五 を避べいため三端に関うなの異ない。 を強せんがため三端に対し来り、 を強せんがため三端に対しました。 に変出を観聴しました。 を対するを関するを関するである。 を対するを関するである。 を対するを関する。 を対するを対する。 を対するを対する。 を対するを対する。 を対するを対する。 を対するを対する。 を対するを対する。 を対するを対する。 を対するを対する。 を対するを対する。 を対する。 を対するを対する。 を対する。 をがしる。 を

實行項目

木材同業組合の

吉

難局打開商談會

行してゐるのである 糧棧の火事

十月中の患者以

千六百五十九名、後者五百四十二 外來患者及入院患者數は、前者一外來患者及入院患者數は、前者一 した、全部の提響は一千五百個に 整一糎を全態午後二時四十分鏡火 四萬八千東の中より出火、指標西地震が不満一端地震域を和明支店院内に不満一端地震域を和明支店院内に不満一端地震域を和明支店院内に して出火の原因は目下取

落成

東洋醫院增築

名であるが之を日支人並に男女別
日本人男 三〇六 女 五一七 安那人男 五〇六 女 五一七 安那人男 五一 女 五一七 安那人男 五一 女 五四二 女 五七 知野氏夫人逝く

全社員擧って 献金するに決定 社員會支部の協議會

古城に於ける蔣織郷監東洋隆院の全部の工事を終了し蔣織監察員の 全部の工事を終了し蔣織監察員の 全部の工事を終了し蔣織監察員の 全部の工事を終了し蔣織監察員の を部の工事を終了し蔣織監察員の をであると、因に新列帳は完備し

放行單問題に 關する座談會 奉天で開かれた

うと事前に相談する様になる、そ うなると日本でも十二分に考慮し がある。

ないの

一地に長く置く様にしたらどう一地に長く置く様にしたらどうない。

で商賣をして居るビジネスに総で値がない、配もその商務官をして民るビジネスに総でにした處で一萬二千圓もあれくにした處で一萬二千圓もあれ い、栗原領事の言はれた様に

來る様に官職を改革したらよい。

繁、朗昌宴、福澤保養 B 組集濟次郎、廣瀬好夫、高倉 世、福家賞、住吉濟 世、福家賞、住吉濟

時來金水源地及孔子廟和察の上出棉狀況破察の爲十三日午前九出棉狀況破察の爲十三日午前九

◆話は遊聴するが前務官は何 外務省から派遣して貰はんでも しやうではないか。 しゃうではないか。 共得心の行く様に日本の概益

場ずる事に決定目下猛焼剤を観ける事に決定目下猛焼剤を観けが出たがりた記選手が出たがらた記選手が出 籃球大會選手

津田氏講演會

**十三日より驚手した** サ三日より驚手した 道路修繕工事着手

多期次事用にお湯を沸すに一日の燃料十銭に見てればを期中に十風以上の支出となります、家庭用ハナキゴム手焼を使用ければ窓中にもほこと、温く業々自由に仕事が出來ますからである。 コム手候は贅沢品ではなく 經濟上実用的日用品なり 家際个书式学校

所はなく利用な可にても其所在を を数出せんと遊走し来り金成湖の を数出せんと遊走し来り金成湖の たが此上は哈爾賓に赴き城銀半館 に救出方を諜願すべく同様者より 能費を悪まれ男を遊して去る十二 は費を悪まれ男を遊して去る十二 告職談會を催した 告職級へ譲渡の件につき經過報 経き減級へ譲渡の件につき經過報 開銀經過報告

加滕氏講演會 馬賊出沒 各地を荒す

高方を御廊が食を命じ日彩を待ちたる騎馬賊の一点は、同地居住農たる騎馬賊の一点は、同地居住農力を動し来り

危機を属り闘宅を見合はしてをるの の荷属車夫其他の旅行者は途中の の荷属車夫其他の旅行者は途中の で変勢中

編州公私經濟聚糖委員會安東支部 第一回幹事會は十三日午後一時か 5地万事務所に於て開催されたが 第一回幹事會の出席者不為の場

所では本社に対し至意歌可を申請が がっては是非十二月一日迄に開 がっちるので地方事を 安東魚菜市場の開館は種々なる事 市場内小質商店種類は左の如くでする事となつた、病現在決定せる

朝巡査へ金時計と

並宣傳の件──毎月開かれる幹 事會に於て簡時決定 審情職組、商識其他に於て物價 要け輸組、商識其他に於て物價 要け輸組、商識其他に於て物價 要け輸組、商識其他に於て物價 では新聞によって随時發表し尚低各商 では正札を聞行する事

状に金時間一個を務へて贈呈する ・襲へる端盗を逮捕した巡査朝畿 ・大きのでは、一郎氏に對し郷町住民は左記感謝 ・大きのでは、一郎氏に對し郷町住民は左記感謝 ・大きのでは、一郎のでは、一郎のでは、一郎氏に対し、一郎のでは、「は、「は、「は、「は、「は、」は、「は 感謝狀を贈る 柳町住民一同から

中感校より左記邀手が出場する事を満中等感校對抗武道大會へ變山全調中等感校對抗武道大會へ變山 中國被牧 武道大會選手

職師艇野堂長津田元龍氏の來金を此程歐米出張を終へて歸滿せる旅

機として来る十六日午後六時より 度致支養院上に於て満洲公社經濟 度切の講演會を開催することに決 定したが多數聚職を都等することに決 に無人方の深騰を都等することに決 で定したが多数聚職を都等することに決

冒留守宅に入電あった 京市日本福岡塙病院に入院治療中人は過程來腎臓炎の兆候で強て東 會員に全部を委任され出席すると 大善太郎の四氏無順職合會三千の 大善太郎の四氏無順職合會三千の 大善太郎の四氏無順職合會三千の 大善太郎の四氏無順職合會三千の 大善大郎の四氏無順職合會三千の 大きない。 酸的意思に依る多額の献命を

に逃走した

婦人講演會

年後大時より零げられたが、其の 原では披露裏を機に共産主義の電 原では披露裏を機に共産主義の電 原では披露裏を機に共産主義の電

節約デー

四平

街

緊縮に就て

職立守備隊に發見され動爾屯方面、出現、金品强要中を折隔避要中の出現、金品强要中を折隔避要中の

料般整の結婚披露宴が公會堂にて機大會員

近に近寄らゆ禄一般に注意された

飲食店を襲ふ 

る安東中駅校選手は左の通り決定銀中等単校職合武道大倉に出場する。

武道大會選手

貯金ご保険

郵便局の活動

六道溝方 安 力面に

(同)寶藤正(二年) ★別河部 審判員緒方鵬、監督形 東信夫(中組)縣川(五年)开上( 同)鹽坂(同)伊東(同)內村(司) 大田(同)田毛(同)宮岡(同)是校 (四年)、(乙組)寶藤(三年)協田 (同)吉田(同)兒島(二年)佐藤( (同)吉田(同)兒島(二年)佐藤( 日) 清水(三年)

家庭館が出來る 早々工事に着手

國債償還献金

東京では新市海州駅地に比較し触力事は 集會所、家庭研究所、兄童俱樂部 兄童遊園 を満鑛本社に要請中の處中程漸く を満鑛本社に要請中の處中程漸く を満鑛本社に要請中の處中程漸く を満銭本社に要請中の處中程漸く を消貨を立て、同建物は總建地 を対したなった、同建物は總建地 では新市海州駅地に比較し触力事は が所式。 を満銭本社に要請中の處中程漸く 利二千圓 のとなった、同建物は總建地 で居る 一二百四十五、二平方米突で工費総 ・ 監査と ・ は 漢級 東京 医館となる に ・ は 漢級 東京 医館となる に ・ は 漢級 東京 医館となる に ・ は 本級 で あ ・ に 数 で も ・ に な る に 数 で も ・ に む た る ・ に む る ・ に る ・ に る ・ に む る ・ に む る ・ に む と も ・ に む る ・ に む と も ・ に む と も ・ に む と も ・ に む る ・ に む る ・ に む る ・ に む と も ・ に む と も ・ に む と も ・ に む と も ・ に む と も ・ に む と も ・ に む と も ・ に む と も ・ に む と も ・ に む と も ・ に む と も ・ に む と も ・ に む と も ・ に む と も ・ に も 五名が警察署に難し献金を申込んで來たので早速手續を取った 金壹調草葉勉、金壹調鴉符母三 金壹調草葉勉、金壹調鴉符母三

で来たので早速手續を取つた金壹圓篠崎豐、拾錢島岭正金壹圓篠崎豐、拾錢島岭正金爺拾銭中村行幸

通である

包米・

本化生出版る 10年100 10年100 10年10日 10年10日 10年100 10年10日 1

貯金職務の結果四十一日金額百二を節約し一方郵便局は各戸を訪問を職職デーとして港事紙費を訪問を職職デーとして港事紙費

包 米 落花生 近石美の 12石美の 八石美の 12石美の 大石美の 12石美の 大石美の 12石美の

の多敗職累年比較表を示せば左の普闡店管内に於ける世米及落花生

包米ご落花生

累年收穫比較

新台子緊縮デー

普蘭店

濟緊縮委員會で 日を修正 調査後當地當美者と折顧する筈で 因に葬儀改善委員は各地の葬儀物

認可を申請 野蔵堂を行ふ事となった、同所附 は 十二日まで同職裏山に於て實環樹 さ

ある

げたる由

本年の落花生は相當體作にして一般。今日本年の落花生は相當體作にして一種があるに至り各生産者は實情みの概念のに至り各生産者は質情みのであるとなる。 普通學校手藝增加

経濟状況現案 大時智識列車にて來籍一治線號各 大時智識列車にて來籍一治線號各 大時智識列車にて來籍一治線號各 大時智識列車にて來籍一治線號各 大時智識列車にて來籍一治線號各 所長・社宅復舊 内部政治 事務所長の社宅は今回工事完成したるを以て十四日再び賃祉宅に移 

金國各襲店にあり 接替東京四六一人二電話小石川五二二二年間人 (本院の)治療後防治を説明したる実体「健康へのぼ」報注 呈 (既名配入御申込末第無代進呈

東京市本鄉區菊坂町五十一

電話 六二三八番 日新堂藥局

代理店

能はら屋花母

同上

野校へ入野志願者は左の通りであ山中野がより関軍士官學校及が年 △七官學校五年生福్/ 同福 一年年末宗正武 一年年末宗正武 一年年末宗正武 たっとタ バコ美食の毒より

恐るべき早發老衰病

▽腦溢血,

機能引通部主艦の恒例優勝斯等部 行する由、今年は機場區、際、市 中の黙扰競励とする管 で成大に墨

旅商團の動靜

▽治療にも豫防にも海貴來が第

▽寒くなるこ血壓が上り危險 風ちうきとと

弓道部競射會

**小硬化症か** 0

懲役六月

# **得票偽造犯**

+ 九 四

百

# がある見込みであるが如く書館を髪へ列記し如く見せかけ金銭を捲き上げそのをは続て遊戦に消費してゐた活字をは続て遊戦に消費してゐた活字をは続て遊戦に消費してゐたと除る。

化の六百人で卽愛高も五千圓以て種々世話してくれたが、一以て種々世話してくれたが、一以て種々世話してくれたが、一以て種々世話してくれたが、一は最く效果が有ると思ふ、特には最く效果が有ると思ふ、特になどが「などもあると思ふ、特になどが「などもあると思ふ、特になどが「などもなどもない。

買つて皆でデモンストレーション

特し鮮満各地を官署の許可なく控である。獲彼は前科一型で京都府下溫室仁和寺教會の托鉢免狀を所下溫室仁和寺教會の托鉢免狀を所下溫室仁和寺教會の托鉢免狀を所

# 云つても過言でない

し十四日朝師長したが、奥田縣院 「大四日朝師長したが、奥田縣院 「大四日朝師長したが、奥田縣院 「大四日朝師長したが、奥田縣院 「大四日朝師長したが、奥田縣院 「大四日朝師長したが、奥田縣院 「大四日朝師長したが、奥田縣院 「大四日朝師長したが、奥田縣院 際會方面の人士が非常に好感を 上に上つてゐた、殊に官憲や商 上に上つてゐた、殊に官憲や商

を職等に終ける電子新聞記者画一をを職等に関すると、一行は満洲里、ボクラニチナヤ方面を作業に関するとの相談を関係をの観察とない場で、カラニチナヤ方面をを職等を関いた足で十三日午後五時長を職等を関いたとで十三日午後五時長を関する。 で構作をでは清晰な、ラニチナヤ方面と、一覧を呼ばれる。 で構作をでする。 で構作をでする。 で構作をでする。 で構作をでする。 で構作をでする。 で構作をでする。 で構作をでする。 では、大クラニチナヤ方面。 でもは、大クラニチナヤ方面。 でもは、大クラニチナヤ方面。 でも、大クラニチナヤ方面。 でも、大クラニチナヤ方面。

# 

# ME 官印を偽造して

病药

金口數千二百十四、金额三千五百四條せる節数デーに際し奉天郵便 は野魚、保險及び年金の髄数を以て貯金、保險及び年金の髄数は貯までは局数の總動員を行ひ大車輸

十一圓、保險件數二百十三、特金百十五圓六十錢年金件數二萬八千五百四十一五圓六十錢年金件數二、排金百十三、特金百十二、特金百十三、特金百十二、特金百十二、特金百十二、特金

十五圓六十銭年金件敷二、耕金一圓四十七銭といふ業晴らしい成績であつたと

### 長崎縣西被性郡高灣村越智一郎へ 一日渡速通博文室から活字。 東のため先づ塞天響は簡田中義高(20) が開発を設定を大響が開始の三名と共に十 田通小谷子名士の許を調理 大響が悪いである。 一日渡速通博文室から活字。 関ひてし右尚武館等年館尚武館等の許可選を を下来天響長の許可諾を の許を が表すると共に十 のため、 大学でを が表すると 大学でを があった。 のため、 大学でを のため、 のため、 大学で のため、 大学で のため、 のため、 のため、 大学で のため、 のだり、 ですると ですると ですると ですると でする。 のだい。 でする。 のだい。 のたい。 のたい 金銭を捲き上ぐ 不埓な托鉢坊主御用

Ħ

列車内で醜態

# 判決が言渡された

### 臨む人氣映畵女優権村獅子は歸國大連における日活館の開演披露に

# 四十分率天驛發管口行列耳が四半人とする混雑中にまぎれて乗客として逮捕されたがこ奴は掏摸取らんとして逮捕されたがこ奴は掏摸を

吉敦方面

旅商團は大成功

一行十四日朝歸長す

露字記者團來る

▲ 本京田ノフ氏 十三日夜赴連 ▲ 本京田ノフ氏 十三日夜赴連 ▲ 本京田ノフ氏 十三日夜赴連 

に臨檢の際睪動不審な處から転調を事実署の司法刑事が武務局旅館を事実署の司法刑事が武務局旅館

# 

能効治主 ○大会を高れ若い気が生きたい人 ○精力、減速提手要大・動戦の人 ○情力、減速提手要大・動戦の人 ○世籍類級で身體ダルク倦怠の人 ○世末がより「貧血球・整不良の人 ○にステリー貧血球・整不良の人 ○にステリー貧血球を一に悩むし人

七六旦居至四一町

◎全國到る處の藥店にあり

品句の節は發費元へ=|| 代金引換=滋料賞要

-目立たぬや

### 十八列車に乗り込み大連經由區園の途中同列車が大石閣を競して間をなく数の前も関めず要に続し見たて公衆の前も関めず要に続し見かれる態態を減じてあるのるに見かれる態態を減じてあるの 千圓詐取 **船入場料は兄童五銭大人十銭** 廿二日午後一時務専附屬校 廿一日午後一時務専附屬校 九日午後六時數島小學校

(可能;) 亚斯二十)

口八

萬收容の

奉

天

巾街計畫を立つ

現在人口は四萬二千

緊縮委員會

愈」設立

十九日幹事會

を等で入場無料多數の來聽を歌迎 大では十八日午後六時半より滿鐵 大では十八日午後六時半より滿鐵 大では十八日午後六時半より滿鐵 大では十八日午後六時半より滿鐵

光はずこも

騒がずこも

心制之常瞥之美譜比無良精質品

Westminster

トツカピンだにあらば

人生は常に幸福に溢る。

四

和

## 中四日午前五時頭中艦城中ホーム 中に連結せんとせる處突然内部よ 中に連結せんとせる處突然内部よ り發火し同貨車一輛を全鰓して大 時十五分質鎖火したが場所院一時 下取職中であるが商品四千圓、貨 は大騒ぎであつた損害その他は目 下取職中であるが商品四千圓、貨 で徳用マッチニ百五十六個他難貨 に連結せんとせる處突然内部よ 中一輛六千圓台訛約一萬圓で原因 奉天理髪業組合にては來る十七日 の公休日を利用し献金のための理 髪デーとしその利益を献金するこ とになつたが當日の料金と理髪場 所は左の如くである 中學生、子供(丸刈十五銭二枚 リトをシ 養來軒、ヘット軒、東京軒 野生(理髪州鏡) 単生(理髪州鏡) 単生(理髪州鏡) 単生(理髪州鏡)

的神經衰弱の原因は不自然行為、或は性七十歳以下の性慾衰退及び青春男女の性

B

三萬八千餘圓に達す

+

節約デー

理想的の市街村登をなすものであずのるのでこれから割出して前途が帰路埠地を加へても二萬足らびる餘地が全くなくなる認である

法につき来る十九日午後一時から奉天俱樂部において幹事會を召集

貨車焼失

んだ

### 定無職李富衆(五八)は十三日午後前科四犯といふ肩書のある住所不 保護願ひに出た

窓に死去せる冒富地に入電があった際が高中の属十三日午後七時や 大院が高中の属十三日午後七時や 大院が高中の属十三日午後七時や

小松氏永眠

た

0

便り

回。速

· 院医原桐 聞らざ

る時は悔ゆ

トツカビン獨特の効目は速 るも及ばさるべし。

力を見よ! かにこの性的危機を救済して遺憾なし。 ツカビン愛用者の漫劇たる紅顔の魅

トツカピン 0

科醫院









に原因す。 的精力の濫費

# 契約高の多少に拘らず御電話あり次第係員参上御相談申上ます 一運送。自動車

險

番角

根

眼

科

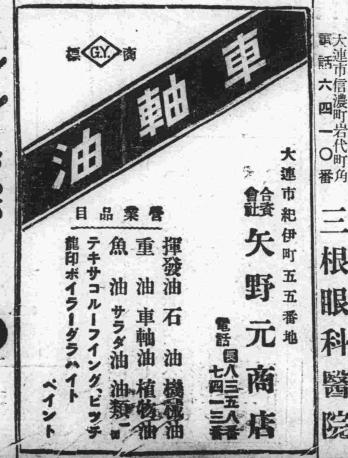
醫

三并物產株式會社

電話代表セー〇一番地

痛 がするなら をおあがりなさい







價!冬にあり る獨逸式新力 非ず品質に因 冷熱の問題に める飲めぬは

略は斯うである

日一日勉強する氣にもなれず、一 を置の機と関が突然後から再び と置の機と関が突然後から再び と置の機と関が突然後から再び と置の機と関が突然後から再び かけた。私はびつくり何天して かけた。私はびつくりで、大の家の架子を かけた。私はびつくりで、大の家の架子を かけた。私はびつくりで、大の家の架子を かけた。私はびつくりで、大の家の架子を かけた。私はびつくりで、大の家の架子を かけた。私はびつくりで、大の家の架子を かけた。私はびつくりで、大のまたので、大のまたので、大の家の架子を かけた。私はびつくりで、大のまたので、大のまたので、大の家の架子を かけた。私はびつくりで、大の家の架子を かけた。私はびつくりで、大のまたので、大のまたので、大のまた。 かけた。私はびつくりで、大のまたので、大のまたので、大のまた。

ならなかつたっ

魘して居ることを恐ろしく思って 薬の裡に子供の持つ大切なものを

してやらうといふ反抗心をさへ起其の架の實を叩き落して踏みつぶ

た。A子もਿ窓性をさらけ出しているのを見せつけられたのであつ

活はメチャメチャになつてしまつ

見童の感じ易い精神生活に機妙すやうになった。

に若へさせられたそしてA子と膝

A子は始めから其の架子を

**能岳城小學校訓導** 

柴田

亮一

大陸こんな館であるが私はこれ 大陸こんな館であるが私はこれ

されてしまつた。そして人間の織じた「美的鑑賞」は目茶々々に

金

るとはっ

それから其の梨子の樹の傍を それから其の梨子の樹の傍を 相ざらだと思つたりした心は何 はなってつて、其の質が毒々しい、いやなものに思へて樹の下 を通るのもいまくくしくなつて 来た。そして何時かあの梨を叩

一寸臓つたのだった。

思はざりき、泥棒呼ばりをされ

無は毛頭なかつたのである。 只、 類は毛頭なかつたのである。 只、

て、童

只多

けてあげやう

たらひとりごとを云つてお話さ とお縁を云ひました。

お爺さんはにこく笑ひながら

だつた。九月のはじめに朝がほいてゐるのでひじやらにきれい

客は後からり

ふのもきれいだつた。楽見のお ら下へ下つてゐるけんがいと言

など小さい花が入りまじつてさ

はいると道の右がはは野梨で一 薬でんらん會の門をはいった。

•

お爺さんは一體何を見たのでせ一滴いて來ました。

日

「お」り可思さるな。そろまてり らな少年太一よりざすねしが助

「お爺さん!有り触ら御座います ました。そして丁寧に頭を下げ 倒れてゐる太一君が遭入つたのでお爺さんの目には是だけ出して

太一はられしさの餘りはお起き というないのはのは母さんは縁氣の害だってある」

「さアお立ち。お前の家に行から

常盤小學校

鹿野 正也

病胃

「あ」

(中)

うに呼びました。

「お母さん!」

見るくく然つて行きました。太一の離は

「お母さん!」

命令だ。お前を救ふのはね――」 にて行きました。間も無く概粗 がいて行きました。間も無く概粗 をな長屋に齎きました。その一つ では長屋に齎きました。

モヒマシタロ

カヘラナケレバ ワウサマハ

オイカリニ テルカ

ラウ? ソシテ

アア オモツテミル

モシ オヒメサマヲ ワレテ

イツテ ワラフニ

チガヒナイ

イノ ウヘニ

ウヘニ ノセルニ チガ

ダラスノ

ワタシハ ドウナルダ

ヒナイ

ワタシラ 「イクデナシメ」

朗かな口調で

「あ」かまはない

神様の御

大チャ

**ノタンケン** 

(141

N

ミチ

作

ジ

ラ

ゥ

(六)

家を暮れて町を歩いて居ました。お爺さんは吹雪を物ともせず、

スだよ!」

と突然お爺さんは

太一君の眼には熱い感謝の涙が「あなたがーー?」

のお爺さんを見上げました。 ました。そしてそれが太一君の口 花のやうに開きました。 「わしか?わたしはサンタクロ 太一は不思議さらに白いおひげ あたたはどなたです?」 中に飛び込みました。 んか! 一は質青になって轉げる様に家の依然として影がありません。太 つて横たはつてみるではありませ 何といふ皮肉な運命でせら! お母さんは布戲の上に冷たくな

併し一度こと切れた人はもら再び 「お母さん! 太一は涙と共に呼びかけました お母さん!」

さんは何故かニコく笑つてゐま 限を開かうとはしませんでした。 りすがつておいく、泣き出しまし 太一は悲しみの陰りが母さんに取 の理科のけんきらに來た時は豪 にさいてゐたのに今はかれてし ばたけの域根の朝がほはきれい 歩いておくの方へ行つた。も一 まつてゐる。そして種がそこら 一めんにちつてゐた。

した。

兒

してゐた。どの蹴も歌は青々としてゐた。どの蹴も歌は青々と 白い紙に白菊、太平洋、帝國族 んの花は皆美しく見えた。花に きいばらへの敬である。其のへ を入つてすぐ目についたのは大 の類がちんれつしてあった。門 つ門を入るとそこにはたくさん 日本概の方を見ると、 東に行く軍は埠頭に行くのであ ある。西に行く車は小崗子に、

0

밂

などいきほひよく太い筆で書い 小さい花がたくさんさいて鱗か た。類の名ふだがつけてある。 は一ばいである。 會社から歸る人々等で、徳の上して、我家へと急いでゐる。又 事をおへた苦力が、眞黒な階を 日はもうとつぶりとくれてしま

空を見ると、もう ついたの汽車がついたのであら た。馬車や自動車や人力車で、 つて、日本艦の電気がパツー 日本間は又にぎゃかになっ

は縦くないといったが、血がだ

んやりと、タヤみの中に浮んでて、日本織も、停車場もうすば きた。あたりは又ひつそりとし がまた」いてある。どこか遠く の方から犬の泣き聲がきこえて

「おい今日は手術らしいよ」と 登場小學校 巻六 池田 七郎 ▲少年團。第(十一月號) 二十銭東京文部名構内少年團日本聯盟 東京文部名構内少年團日本聯盟 本子供之友(十二月號) 多のたのし み號(二十五銭東京雑司ケ谷上 り屋敷婦人の友社) ▲大連スカウト(十一月號) 大連 ● マーワに聴く児童雑誌の功罪を ターワに聴く児童雑誌の功罪を の他とどもの頁等(四十銭東京 の他とどもの頁等(四十銭東京

に行き、ゆつくりと衞生塾に行だから、したくもない小便をし がいらつしやつた。僕と吉村君 生がいらつしやるのを待つてる った。まだ離るして居なかった なんだかいたそうだ。小野寺君 小野寺君が一番にした。見て居 とは一番にしてもらうのがいや の離で 「蘇くない」といつた。僕はや

說明

書 進 優赤にそまつた。前の通りは、 出はもう西に沈んで、あたりは

あたりは

タ

松林小學校 大

声岡

儲

から車が西から東に、つらなつ

いだらう「と思ひながら石井先

(D.

但し「縣賞兒童饌物」と朱書のこと、一般送先 満洲日報社編輯局 文章話の應募はどなたでも差支へありません。
文章話の應募は小學生に限る
文章話の應募は小學生に限る
文章話の應募は小學生に限る
文章話の應募は小學生に限る
文章話の應募は「本語」では、紙
文字體は明緻に書くこと
、一人で何篇應募してもかまひません。
文字體は明緻に書くこと
、一人で何篇應募してもかまひません。
文字體は明緻に書くこと
、 紙
文原稿の末尾には必ず住所姓名を明記して下さい、紙
文原稿の末尾には必ず住所姓名を明記して下さい、紙 | 本常三四年程度、一回十五字語七十行内外三回完了の| | 本常三四年程度、一回十五字語七十行内外三回完了の| 新年兒童讀物 一等十圓、二等五圓、三等三圓 一等三十圓、二等二十圓、三等十圓 懸賞募

一二十ビ、吹出物 ――婦人は固より男子がでも、ニキビや吹出物の多いのは見よいもので御座いませんが、この栗は頑固なニキもので御座いませんが、この栗は頑固なニキ

方のムツかる時なぎ、この上ない重質な事が

おわかりになります。

な猫さや痒さが止まり、さゝれた跡が腫物なにさゝれた時、この葉を附けますご、不愉快

その他者のある虫

三皮膚を美しくす……斯ういふ髪ですから、常用すればニキビ吹出物を防ぐは勿論、皮膚は次第に磨きこんだ様に綺麗になり、顔の美しさを増しますので、心ある御家

ながら、案外無くなくてすんだ なり痛いのじやないかと心感し 新刊教育書紹介 出たところを見ると、

小野寺君が言つた。

「ちえっ困ったなあ、きつと徹一

リアニ店薬各國全 W

\* 郎太伊內堀



旅溫)

樂しい遊び場所です 浴

すれば、牛乳に六九四二倍し、前記食品中のヴイタミン人に比 鷄卵に三六二倍し、肝油に二五 倍する力價(動物試験による)を有 少量にて足り、 且つ服用し 牛乳交黑倍

鷄卵三二倍

肝 油二五倍

る抵抗力を増進する新築養素:・成長發育を促進し、疾病に對す

成長發育を促進

乳可なり、鷄卵可なり、肝油亦 ヴィタミンA…を攝るには、

而して三共ヴイタミン

三共ヴイタミンAは、之を

共ヴィヲミン△

VITAMIN-A "SANKYO" 50個人 100個人 1000個入

服用し易き膠嚢劑

出張所 社 留 町 式 大阪、臺北、紐育

れたき皮膚衛生薬 ごになる事が御座いません。蚤や蚊で夜お子

元賣發 (京東・阪大)

きびとり 心ある御家庭

つと安心した順々とすんだ、と

とう僕の番が來た、小野寺君

お休み處サクラカフェー製造・製造・製造・

によくきく

撫賴東二條

72

成長緩慢なる小兒、虚弱者、疲勞

感ある實務家、夜盲症、急性病族 復期、並に慢性病例へば慢性肺結 核其他の補逼削として推奨せらる

(±)

東京十五日 製造 ・ であるが、事國交に関する ・ であるが、事國交に関する

有会は 対合す方針である 対合す方針である 対合す方針である

三位一貫三百数、時間四千三百間 風呂敷 に包んでモルヒネ

一定父の遺管器のに真都與願守に行 を持たて表を順まし以來政吉の音 を開い出たが、居所が判らないので 大部分は自殺したのではないかと 大部分は自殺したのではないかと 大部分は自殺したのではないかと

謝失火御見舞 末永組

電機

標準テレゴグ

**賞属:所いた吉林丸)** 常属:所いた吉林丸)

リカのガルペストンに開かれるミーサカのガルペストンに開かればアメータを願ち得た美人の意識質に一等を願ち得た美人の意識質に一等を願ち得た美人の意識質に一等を願ち得た美人の意識質に一等を願ち得た美人の意識質に一等を願ち得た美人の意識質に一等を願ち得た美人の意識質に一等を願ち得た美人の意識質に一等を願ち得た美人の意識質に一等を願ち得た美人の意識質に一等を願ち得た美人の意識質に一等を願ち得た美人の意識質に一等を願ち得た美人の意識質に一等を願いません。

右傾し甲板上の船員は歩行にすら困難を感じる程であつた、なほた、しかるにこの航海中に木材がぐれ出し同船入港の際は十六度し取散ず蔚山に入港風雨を避け十五日午後四時大連に入港して來

**厳密材千五百三十八本を徴蔵十日同港を出帆したが、時化に遭遇大汽チャターの吉林丸(船長三隅稔太郎氏)は朝鮮雌基穂にて朝大汽チャターの吉林丸(船長三隅稔太郎氏)は朝鮮雌基穂にて朝** 

更にモル

ヒネ

藤組

ラグコ

多量を押收

岡島一味の密輸額

數十萬圓に上らん

大汽の傭船吉林丸

相告發事件で

海口首相、江

某國の出資事實

明瞭となる

共産黨事件に關して

法相、

閣議で報告す

で再び刑事の一隊はサイドカーを

きその序に潜水寺へ行つたが、舞さんの序に潜水寺へ行つたが、舞きに行いくの遺営が続めに真都専願寺に行いくの遺営が続めに真都専願寺に行いる。

捜査願出づ

の花)琴赤松夫人、尺

重収調べた結果剤く炊事場の総

十六度も傾いて

やつとる

同主催にて、毎年マニラに二月十世が今回同地カーニバル協會と共ピン、マニラにあるヘラルド新聞

スワールド(世界鑑)経術の関際 ◇…世界の 美人代表に挑 会地で美人を選ばせるはずで代表 戦しようといふ計畫である、外務 美人を決定すると 省ではヘラルド社の熟心で勧誘に 名地で美人を選ばせるはずで代表

時景場 | 4878 | 6807 | 本 店 4341 | 沙河口 9318

日

小良化を防ぐ

本洋美人

**公競艷會** 

カーニバル祭商工市の催し

首位者は東洋孃こ名附られ

世界嬢と覇を争ふ

關東廳が嘱託員を

各地に配置して

東久邇聯隊長宮

事より舒振關係につき取職を受た東京地方競事局に召喚され金澤厳

目覺しい御奮鬪

遂に高地を占領遊ばさる

瓦斯宣傳

中國人に

特別大演習の第一日

膓チブ

ヂッテリ

ヤ猖獗

大連署で防疫に腐心

南滿瓦斯會社では本登深華人館に「水幅れてみる者なども居た

小崗子で

たがガスといふものを全然知らぬ 苦力等の入場者も多く火が出るの で珍しくガス管が熱くないかと怖

的な戀を

# 尖端をゆく③

一人前の女給になる迄の苦勞

の前に出てお酢をすると、ヨウ するでせう。それ位な事でも それ最初のうちつてものは なんて手を握られた

付ど物好きで女船になったわけ たほどよっ

最初のうちはそれは随分驚いて 整度がいて部屋の中に逃げ込ん が事か、だから初めの二個月散 りは離り客のそばには行かない で著音機をかけること許りして で著音機をかけること許りして

ので必要なんだし、また店によ言ったつて武士の甲冑の様なも 関もする錦紗物なんか繁澤だと十関はかくるものよ、六、七十

像約してどうしても平城月に三 ・選ひは要るし、お湯鏡から髪 ・選ひは要るし、お湯鏡から髪 がでせら、お

が來てゐる時等は困るんのよ、 となかし、苦いものよ、倘更男 となかし、一苦いものよ、倘更男 そのテーブルの方へ行つても男ほかの御客様から名を呼ばれて

てどんな御客にも變り無く變想のでこそ斯うして落齎いて了つ 八、九の時代には矢畳り好きなよくする様になりましたけど十 資本ぢや出來つこないわと。

ても扱かしたりするのでそりやまた自分の受持の番が廻つて來 また自分の受持の間が適つて來の手前氣になつて随くなつて、 ブルをよくまもつて能療職なくだから女給としては受持のテー だけの概人でも姉さんでも妹で

最り女給もスピードの職業ねオ 関方のよく仰有るレヴュー的な 概をシャポン玉の様に風の中に 概をシャポン玉の様に風の中に

月以來既に百五名に達し中四名死 脱病院と大連満舞響院に呻吟し兵 脱病院と大連満舞響院に呻吟し兵 庭は大いに用心すべきである で発病してゐるので子供持つ家 く罹病してゐるので子供持つ家 に互つて散波し年少の子供に多 に互つて散波し年少の子供に多

一九〇一

一二六四五 六二三五 二二八〇六

の許可申請 實業補習教育

中から

荷麗だって かられ、そしてそれだったりして傷みが早いし女給って たり、引張られてお鴻がかょったり、引張られ ると前借にして買はしてしまふ 一人きりで長いこと 吹つてるた 方だって無戦コーヒー杯一位でのよ、コウバふと何だけど店の なつて了ふんですものねっ 見ないし、他の御脊機も来なく の上り高は戦分位に減つて了ふ酸酸に務高が選つて来てチップ

五六六五

支那料理店の

不潔なタオル

今後消毒を勵行せしめ

嚴重に取締る

逢廓ご支那料理が繁昌

連籃球聯盟

大連籃球職駅リーケ戦は十五日午

くて七、八名の新島者が發生し一 卒業後直に就職しても相當働きの大連繁一中學校では明春百餘名の 大連繁二中學校では明春百餘名の 大連繁二中學校では明春百餘名の 新加人戦育五十名餘、午前三時の 地域で鬼物を催すこと、なったが 単域で鬼物を催すこと、なったが が、大利の日曜に三十

勤儉節約の

不景氣な花柳界

九時ごろ師宅を許されたが、後等一一味は聞島が清線列車區荷物係の一味は聞島が清線列車區荷物係の同に重り大袈裟な密輸を行つてる。

3 0 11 2 2 0 0

A連 68 5929 1010 20 Y中 C A

外國直輸入品を原價にて販賣す

尚本十六日は棚卸に付乍勝手午後より休業可住候

浪速

花乃屋本

電話四九五九。七二〇七

チス

# リウマー神経痛と

舶來在庫品

一月十

・七日より二日間

### は 大 かり は か な と し と か か か か の の り を や わ ら げる 特 か か ら か か あ め の ひ と 目 に 見 え て の き ふ め が あ り の む と 目 に 見 え て の き ふ め が あ り の む と 目 に 見 え て の き ふ め が あ り の む と 目 に 見 え て い の で な ら 、 腕 分 取 い の で も 面 さ い は 前 配 の ん て ご ら ん 、 薬 價 は 十 八 銭 、 五 一 り 銭 、 一 圓 、 二 圓 本 稲 は 名 古 最 市 十 銭 、 一 圓 、 二 圓 本 稲 は 名 古 最 市 十 銭 、 一 圓 、 二 圓 本 稲 は 名 古 最 市 は 前 配 の 作 用 に よ り 婦 人 病 と 慢性 は 前 配 の 作 用 に よ り 婦 人 病 と し は 前 配 の 作 用 に よ り 婦 人 病 と 慢性 は か が あ る ) 耳 澤

製造高五十萬石

### 鼻 三塌廣西市連大

○ 一四五部電

### 大ボーイ等がタオルの開端を持つ 友人知己を頼って大連へ赴き潜伏タオルは何等観生観念のない支那 ケ年も動物した事あれば、常時のタオルは何等観生観念のない支那 ケ年も動物した事あれば、常時のタオルは何等観告に決機がある。 大年も動務した事あれば、常時の 大連響へ搜査かたを願って来た 日大連響へ搜査かたを願って来た 位本樣客御 斷賣洋行二服 二割引を

原因はオンドルの不完全からよし 振津町の火事 十五日午 後九時ごろ市内郷津町一番地末飛後九時ごろ市内郷津町一番地末飛 十五日の献金 店の を願上げま ▲ 失地向持分の仕立代 人念で御座ひます… ・ も特價で致します… (用度課前)

今村洋服店

たる場合はバケツの場に愛し之れを総つて提供するのを普通とするが常之れが大勢の顧客に提供するのを普通とするが常之れが大勢の顧客に提供するのと普通とする場合はバケツの場も交換せぬは、第三の顧客へ順来をして、などをでいたタオルを再築しまった。 のこ、第三の顧客へ順夫抵供する。 はいたタオルを再築しまった。 近下したその場で再び絞り更に第一次第三の顧客へ順夫抵供する。

地番四町金黃市連大 番五七七九話電

# 

昭和四年十一月十六日(土曜日) 自午前十一時 相場(特産、鍵鈔、株式、各地 相場(特産、鍵鈔、各地相場) 自午後三時三十分 相場(特産、鍵鈔、各地相場)ニュース 1年後三時三十分 日場(特産、鍵鈔、株式、各地 日場)

展書者。 学年 ト 大来で 大来で 大来で 大来で 大来で 女店員募集 女學校卒業程度十七歲以上

寫內省御用證

野田醬油株式會社

大連市紀中町二十番地 後四時迄に自墜履 商

上候て死去致候間此段御通知申て死去致候間此段御通知申東京に於東京に於 東京市四谷属谷町二丁目二十八番番に於て告別式相管可申候に外て告別式相管可申候 **総親** 代戚

下 天 も氣人の堂食 らか油醬おのこ



窓

てる子は特無意識に、青ざめ果て、かさくくに乾いてゐる焼に飛ったり、色の褪せた。 にいてゐる焼に飛っていたりしながら、思ひる をかった。 をはきうかますると、素等く をははなやりと眼をやつてるた。 ははんやりと眼をやつてるた。 が、どんな餌付をするだら を、英輔はなき服の服を強うないがし、 と、英輔はなき服の服を強うないがします。 がない!フン、確当い!お前はこかがい!フン、確当い!お前はこ

と、もち動きはしないんだぜ」と、もち動きはしないんだぜ」 一僕は、お前にこんな才聖が

その限の前へ、影

山神 權之氏 小玉龍 藏氏

英軸に耐笑った。

なへマはし

生殖器障碍

内地文製版店。マッ 大連市岩代町 大連市岩代町

**泌尿器** 

性 病 粉性下丸

a

死走浪速町二丁目

醫院

資合

一丁速浪 目1

西三五六五話電

大建市大学(電気透画表

を問部 午後六寺にり 午後四時を 書間部 午前九時より 午後四時を をれば自動草界のみの特典である をおは自動草界のみの特典である

午前九時より 午後八時迄 午後八時迄 午後八時迄

・欧洲行松本 丸 だあか丸

河長 內田館一

(入院随意)

毎月一

就日職開の始

シン!!

頭痛・ノーシン!!!

●鎖 南浦行

大東阪京井

田 京

築

病轉

門

逢 生 発漬

大海滨速町景館公司

内容施設は在學生に付き確認せられよ 内容施設は在學生に付き確認せられよ の時は教師付深の無器食鬼 を除の時は教師付深の無器食鬼

女子部特別開設



**畜音機**=電氣擴大裝置 ガンスポー 地番四世面西連大 藤内 商

が、トラネーム。はやり眼、尾眼、打撲眼、かずみ眼のはせ眼、やに眼其他脳病一切には、のばせ眼、やに眼其他脳病一切に

つも検査満點!

良い眼を造る大學眼藥

**6** 

がある。 がある。 がは、行居いた「小児用大學服業」があり ます。その他、「大學服業」は、監察品で ます。その他、「大學服業」は、監察品で ます。その他、「大學服業」は、監察品で ます。その他、「大學服業」は、監察品で ます。その他、「大學服業」があり 東洋一の質行を示して居ります。 小児の質に 自丁一強化版大

社會式株堂天参

のでは、一般が表現の有名な五世界では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一般が表現の有名な五世界では、一般が表現の有名な五世界では、一般の

キューナード汽船會社 ・ 大路画誌 海區 取ぎること有之候 ・ 大路画誌 海區 取ぎること有之候 ・ 大路画誌 海區 取ぎること有之候 等11・1・汽船會社 新鮮新船株式會社大連代理店 新鮮新船株式會社大連代理店 北大連代理店 北大連代理店 北大連代理店 北大連代理店 北大連代理店 六四・五八八八番 ●腎島上海行/隣 丸十二 行天津光

天朝九十年香灣大學

●天津行長山丸前 滿皺とは貨物連絡取扱致 滿皺とは貨物連絡取扱致 大連市山縣通二〇〇番地 大連市山縣通二〇〇番地 大連市山縣通二〇〇番地 近海郵船軟出帆 全島谷汽船財出帆

|||日本郵

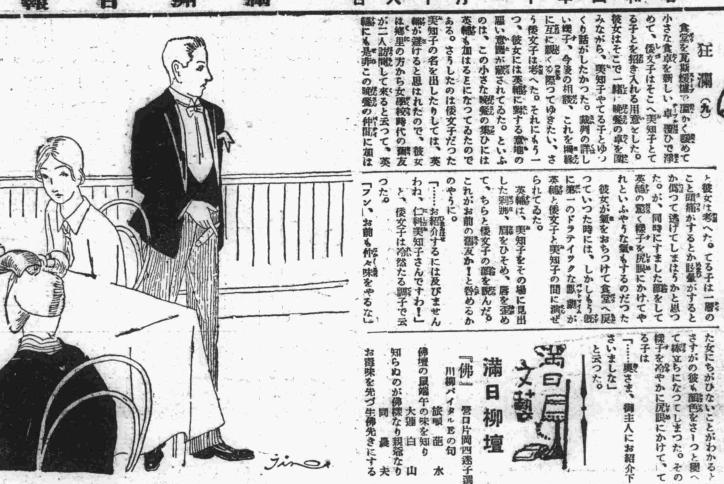
●青島上海行「難山丸・三克大量時 大阪商船株式会社 大阪商船株式会社 大阪商船株式会社 電話四二三七番 電話四二三七番 電話四二三七番

前料理 (突出付) 金派十段 景話七四二九章 金 四 十 錢

# 幡

程中通車電町渡信市庫大

●北米シャトル、タコマ行 はりい 丸 ユニー六日 に上海神戸四日市横濱郷由) をお断り 客お断り



M-41

「佛」 一巻口片岡四迷子選 「佛」 一巻口片岡四迷子選 お喜味を先づ生佛先きにする 高、有、昔で養っ名でか

様子を冷やかに別眼にかけて、て ですがの彼も離色をさ1つと嬰へ て縁立ちになってしまった。その 大連市級島印音學特面 佐志醫院 婦産内 電話六五〇二番

8

調、高、氣・人にてしと料:白、美・的、代:近、む合、を素・水、化、酸、過、

○五 大 • ○□ 小 信定

化粧品店にあり

世鍋お天小櫻御 電話である。 でよるの宗金戸 でなるの宗金戸

ム荷扱所(電話四八〇二番) 公式會社大連支店 (電話

明 二十段、三十段、五十段、安徽、各条店に有り

地下のは任義の義務であり

高橋汽船大連出的